

モーターボート競走公益資金による  
財団法人日本船舶振興会の補助事業

# 家屋評価に関する調査研究

—標準非木造住宅の再建築費等  
に関する調査研究—

平成 2 年 3 月

財団法人 資産評価システム研究センター



## は し が き

財団法人 資産評価システム研究センターは、適切な地域政策の樹立に資するため、地域の資産の状況及びその評価の方法に関する調査研究等の事業を実施することを目的として、昭和53年5月に発足しました。

爾来、当評価センターにおける調査研究は、資産評価の基礎理論及び地方公共団体等における資産評価技法の両面にわたって、毎年度、学識経験者及び自治省並びに地方公共団体等の関係者をもって構成する資産評価システム、土地、家屋及び償却資産の各部門ごとの研究委員会において行われ、その成果は、会員である地方公共団体等に配付してきたところであります。

家屋研究委員会においては、本年度の調査研究のテーマとしては ①標準非木造住宅の再建築費等に関する調査研究 ②建築費に係る部分別（屋根、基礎、柱等）労務量等に関する調査研究（木造）の2項目といたしましたが、本報告書は、上記①の調査研究に属するもので、全国主要都市における非木造の共同住宅（鉄筋コンクリート造）を対象に、標準的な共同住宅の構造、様式、型式、規模、使用資材等及び建築価格等について、都市間の地域差の状況を把握する等の調査研究を行いました。この程、その調査研究の成果をとりまとめ、ここに、公表する運びとなりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議いただきました研究員各位並びに実地調査に当って種々ご協力を賜りました地方公共団体関係者各位に心から感謝申し上げます。

なお、当評価センターは、今後とも、所期の目的にそって、事業内容の充実のためさらに努力を傾注する所存であります。地方公共団体をはじめ関係団体の皆様の一層のご指導、ご援助をお願い申し上げます。

最後に、この調査研究事業は、モーターボート競争公益資金による財団法人 日本船舶振興会の補助金の交付を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表するものであります。

平成2年3月

財団法人 資産評価システム研究センター  
理事長 植 弘 親 民

（一）關於我軍之政治工作，應根據中央及總政治部之指示，結合本軍之特點，加強政治工作，提高士氣，鞏固部隊，保證戰鬥力。政治工作應貫穿於軍事工作之中，使軍事與政治相結合，相輔相成。政治工作應深入基層，深入戰士，使戰士們在思想上、政治上、組織上、生活上得到關懷和幫助，使戰士們具有高度的政治覺悟和戰鬥勇氣。

（二）關於我軍之組織工作，應根據中央及總政治部之指示，加強組織工作，鞏固組織，提高戰鬥力。組織工作應貫穿於軍事工作之中，使軍事與組織相結合，相輔相成。組織工作應深入基層，深入戰士，使戰士們在組織上得到關懷和幫助，使戰士們具有高度的組織紀律性和戰鬥勇氣。

（三）關於我軍之宣傳工作，應根據中央及總政治部之指示，加強宣傳工作，提高士氣，鞏固部隊，保證戰鬥力。宣傳工作應貫穿於軍事工作之中，使軍事與宣傳相結合，相輔相成。宣傳工作應深入基層，深入戰士，使戰士們在思想上、政治上、組織上、生活上得到關懷和幫助，使戰士們具有高度的政治覺悟和戰鬥勇氣。

（四）關於我軍之紀律工作，應根據中央及總政治部之指示，加強紀律工作，鞏固組織，提高戰鬥力。紀律工作應貫穿於軍事工作之中，使軍事與紀律相結合，相輔相成。紀律工作應深入基層，深入戰士，使戰士們在組織上得到關懷和幫助，使戰士們具有高度的組織紀律性和戰鬥勇氣。

# 研究組織

## 家屋研究委員会

委員長	松下清夫	東京大学名誉教授
委員	加藤裕久	小山工業高等専門学校教授
"	宍道恒信	宍道建築設計事務所長
"	西澤博	電気通信共済会建築部
"	上杉啓	東洋大学教授
"	吉田倬郎	工学院大学助教授
"	黒田隆	(財)建設物価調査会技術顧問
"	斎藤順男	清水建設(株)設備管理部担当部長
"	関根繁夫	
"	岩波忠夫	自治省税務局府県税課長
"	成瀬宣夫	自治省税務局固定資産税課長
"	前田光雄	自治省税務局固定資産税課固定資産鑑定官
"	道用好司	(財)資産評価システム研究センター調査研究部長
専門員	宮澤豊成	自治省税務局固定資産税課家屋第一(兼)家屋第二係長
"	渡辺豊	(財)資産評価システム研究センター主任研究員
"	井上茂	(財)資産評価システム研究センター主任研究員

なお、岩波忠夫及び成瀬宣孝両委員は、それぞれ谷口恒夫及び小川徳治両委員が途中辞任されたことに伴い、その後任として委嘱された。



# 目 次

I 調査研究の目的等	1
1 目 的	1
2 調査方法	1
(1) 意 義	1
(2) 調査対象家屋	1
(3) 調査項目	1
(4) 調査の方法	2
3 調査結果の集計	2
(1) とりまとめ方	2
(2) 凡 例	2
II 調査結果の概要	4
1 調査対象家屋の概要	4
2 共同住宅（RC造）に係る建築価格等の調査	6
(1) 建築価格等の状況	6
(2) 建築価格等の地域差	10
ア 概 要	10
イ 地 域 差	13
(3) 評点水準の状況等	17
3 部分別の施工状況等の調査	20
(1) 再建築費評点数の部分別構成比	20
(2) 再建築費評点数の地域別部分別構成比	21
4 主要資材に係る価格の状況調査	23
(1) 生コンクリート	23
(2) 鉄 筋	25
5 施工会及び販売形態の状況調査	27
(1) 施工会社の状況	27
(2) 販売形態の状況	28

Ⅲ 調査研究—昭和60年度～平成元年度をまとめて—	29
1 目 的	29
2 調査対象家屋の年度別比較	29
3 過去5年間の調査結果概要	31
Ⅳ 計数資料等	37
1 共同住宅（RC造）に係る調査対象家屋の状況	37
2 共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況	38
3 共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況	39
4 主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況	40
5 建築設備に係る部分別評点数と設備内容	41
6 主要資材価格、施工会及び販売形態の状況	44
7 調査対象家屋の部分別仕上げ資材一覧	45
Ⅴ 参考資料	79
1 主要建築資材の卸売物価指数	79
2 RC造居住専用建物の工事費予定額等	80



## 1 調査研究の目的等

### 1 目的

再建築価格は、家屋の価格の構成要素として基本的なものであり、その評価の方式化も比較的容易であるため、地方税（固定資産税及び不動産取得税）における家屋の評価においても再建築価格を基準とする評価方法が採用されているところである。

当センターでは、専ら地方公共団体における評価実務の参考に供するため昭和60年度から非木造の共同住宅（鉄筋コンクリート造（以下、RC造と表記する。））を対象として全国主要都市における建築費の実態、建築費と再建築価格を基準とした評価額との相関関係等について調査研究を行ってきたところであり、平成元年度においても引き続き同様の調査研究を行うこととしたものである。

なお、この調査研究の主な目的は次のとおりである。

- ① 全国主要都市における標準的な共同住宅（RC造）の建築価額を把握すること。
- ② 標準的な共同住宅（RC造）の構造、様式、形状、規模、使用資材及びその施工の状況を把握するとともに、その地域差を明らかにすること。
- ③ 標準的な共同住宅（RC造）に係る建築価額とその部分別の割合について、全国主要都市間の地域差の状況を把握すること。

### 2 調査方法

#### (1) 意義

この調査は、原則として昭和63年中に建築された共同住宅（RC造）で、その態様が中庸である家屋を、各調査対象都市から各1棟抽出し、調査・分析することにより、地域差等を統計的に推定しようとするものである。

#### (2) 調査対象家屋

- ① 用途・構造 RC造共同住宅（昭和63年中に新築されたもので、パネル式工法以外のもの。）
- ② 選定棟数 原則として都道府県庁所在都市ごとに1棟（総数47棟）
- ③ 程度・規模 3～5階建（地階のないものに限る。）で住戸数が30戸程度のもの。ただし、その態様が中庸なもの。

#### (3) 調査項目

##### ア 調査対象家屋に係るもの

- ① 建築価額

- ② 構造、様式、形状及び使用資材別施工量
- ③ 再建築費評点数の算出根拠（部分別内訳）
- ④ 施工会社及び販売形態

イ その他

その他建築費に関する必要事項

(4) 調査の方法

- ① 調査対象家屋の所在する都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査（41棟）
- ② 上記の調査に基づき、当センター家屋研究委員会委員による実地調査（本年度対象都市：福島市、福井市、和歌山市、鳥取市、高知市、佐賀市）

3 調査結果の集計

(1) とりまとめ方

この研究成果は、調査対象都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査に基づいて、当センターの家屋研究委員会の委員が、適宜、実地調査を行い、更に、報告された各データについて精査、調整の上、整理集計するとともに若干の分析を加えて取りまとめたものである。

また、昭和60年度から継続してきた本調査も最終年度となるため、5ヶ年分の調査結果についても併せて取りまとめた。

(2) 凡 例

収録事項の主な用語の定義等は次のとおりである。

○建 築 価 額 所有者が建築業者に支払った建築費（諸経費を含む。）で家屋評価の対象部分に相当する延べ床面積1.0㎡当たりの価額

○再建築費評点数 延べ床面積1.0㎡当たりの再建築費評点数

○平 均 注記していない限り算術平均とした。

○標 準 偏 差

$$\text{標準偏差 (s)} = \sqrt{\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}{n - 1}}$$

○データの範囲 データの範囲 (R) = 最大値 (最高) - 最小値 (最低)

○評 点 水 準

$$\text{評点水準(\%)} = \frac{\text{「再建築費評点数」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$$

- 北海道地域 札幌市
- 東北地域 八戸市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市及び福島市
- 北関東地域 水戸市、宇都宮市及び前橋市
- 南関東地域 浦和市、千葉市、東京都（特別区）及び横浜市
- 北陸地域 新潟市、富山市、金沢市及び福井市
- 中部地域 甲府市、長野市及び岐阜市
- 中京地域 静岡市、名古屋市及び津市
- 北近畿地域 大津市、京都市及び奈良市
- 南近畿地域 大阪市、神戸市及び和歌山市
- 山陰地域 鳥取市及び松江市
- 山陽地域 岡山市、広島市及び山口市
- 四国地域 徳島市、高松市、松山市及び高知市
- 北九州地域 福岡市、佐賀市及び長崎市
- 南九州地域 熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市及び那覇市

## II 調査結果の概要

### 1 調査対象家屋の概況

平成元年度の調査において、各都市から調査対象家屋として選定された家屋の階数、住戸数、延べ床面積等の状況を示すと表1のとおりである。階数については3～5階建を指定したが、7階建以上のものが2棟あった。また、住戸数においても、30戸程度のを指定したが、20戸以下のものが19棟、40戸を超えるものが3棟あった。一戸当たり延べ床面積については、特に指定しなかったが、かなり小さいものが見受けられた。

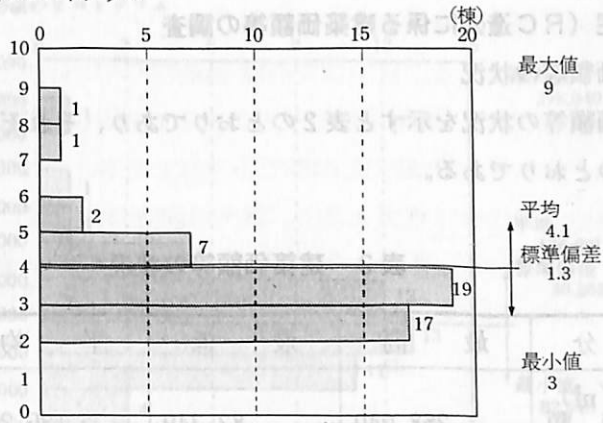
表1 調査対象家屋の状況

区分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
階 (階) 数	9	3	4.1	1.3
住 戸 (戸) 数	51	12	24.3	10.1
延べ床面積 (㎡)	4,247.82	535.50	1,643.43	699.87
(㎡/戸) 一戸当たり 延べ床面積	93.46	41.69	68.85	12.48

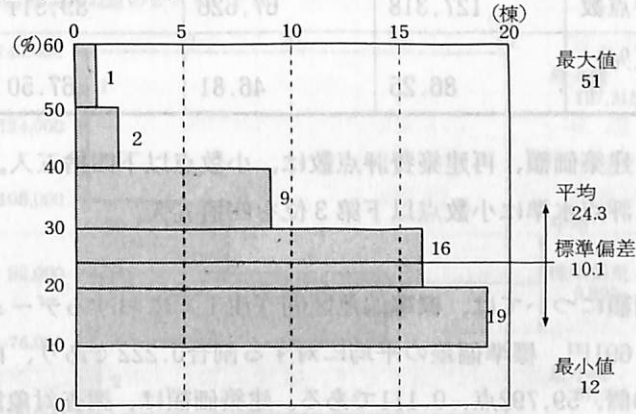
- (注) 1. 階数、住戸数は、小数第2位を四捨五入。  
2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積は、小数第3位を四捨五入。  
3. 延べ床面積は、建物内の階段等の共有部分に係る床面積を含む。

なお、調査対象家屋における階数、戸数及び一戸当たり延べ床面積の段階別区分の状況を示したものが、図1である。

階数のヒストグラム



住戸数のヒストグラム



一戸当たり延床面積のヒストグラム

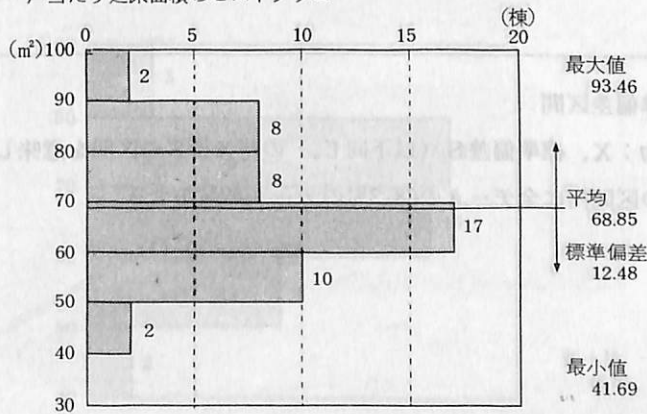


図1 階数等の段階別区分状況

## 2 共同住宅（RC造）に係る建築価額等の調査

### (1) 建築価額等の状況

建築価額等の状況を示すと表2のとおりであり、それぞれの段階別区分の状況は図2のとおりである。

表2 建築価額等の状況

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
(円/㎡) 建 築 価 額	258,040	82,349	136,201	30,268
(点/㎡) 再建築費評点数	127,318	67,526	89,511	9,895
(%) 評 点 水 準	86.25	46.81	67.50	9.73

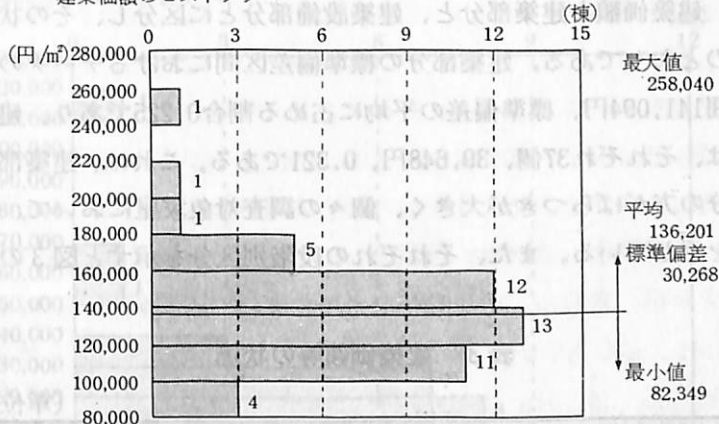
- (注) 1. 建築価額、再建築費評点数は、小数点以下四捨五入。  
2. 評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。

建築価額については、標準偏差区間（注1）におけるデータの数41個データの範囲175,691円、標準偏差の平均に対する割合0.222であり、再建築費評点数はそれぞれ43個、59,792点、0.111である。建築価額は、調査対象家屋の品等、施工の程度差の他に、個別的特殊事情による取り引き価格の差が反映されていると考えられる。

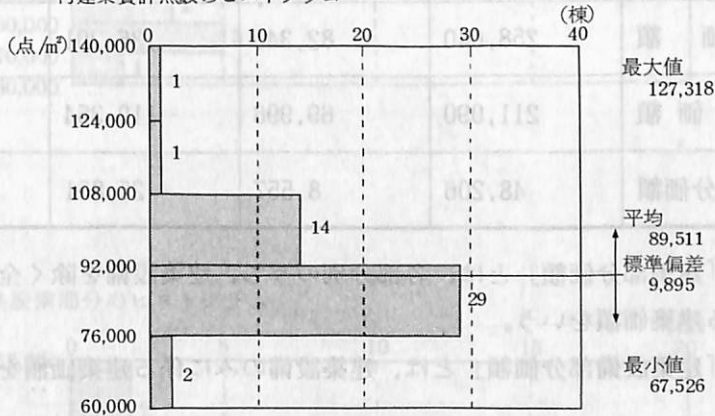
(注1) 標準偏差区間

平均： $X$ 、標準偏差 $S$ （以下同じ。）の時 $X \pm S$ の区間を意味し、正規分布においてこの区間内に全データの68.3%のデータが存在する。

建築価額のヒストグラム



再建築費評点数のヒストグラム



評点水準のヒストグラム

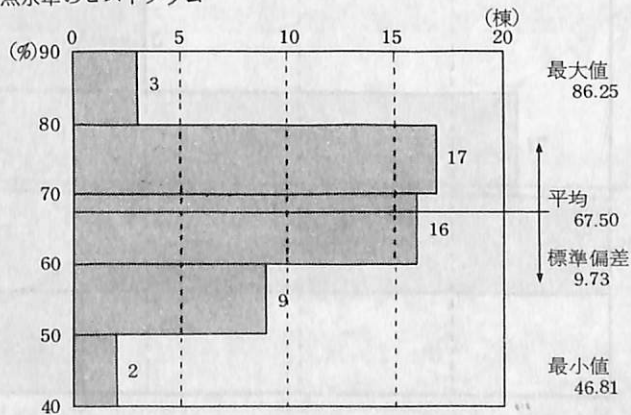


図2 建築価額等段階別区分状況

また、建築価額を建築部分と、建築設備部分とに区分し、その状況を見てみると表3のとおりである。建築部分の標準偏差区間におけるデータの数44個、データの範囲141,094円、標準偏差の平均に占める割合0.225であり、建築設備部分においては、それぞれ37個、39,648円、0.321である。これは、建築部分に比べ建築設備部分の方がばらつきが大きく、個々の調査対象家屋において、個体差が大きいことを示している。また、それぞれの段階別区分を示すと図3のとおりである。

表3 建築価額等の状況

(単位：円/㎡)

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
建 築 価 額	258,040	82,349	136,201	30,268
建 築 部 分 価 額	211,090	69,996	110,354	24,836
建 築 設 備 部 分 価 額	48,206	8,557	25,851	8,286

- (注) 1. 「建築部分価額」とは、各部分別のうち、建築設備を除く全ての部分別に係る建築価額をいう。
2. 「建築設備部分価額」とは、建築設備のみに係る建築価額をいう。



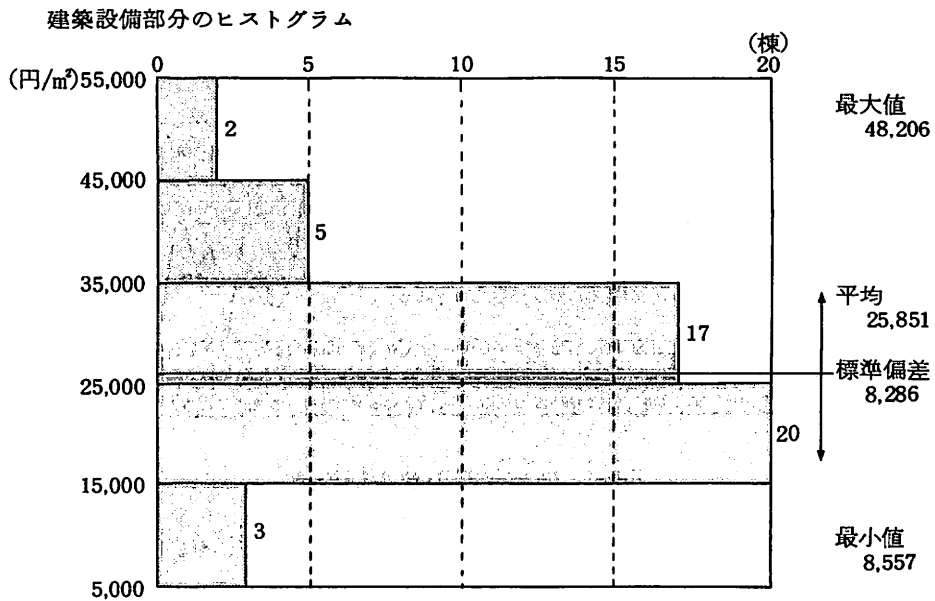
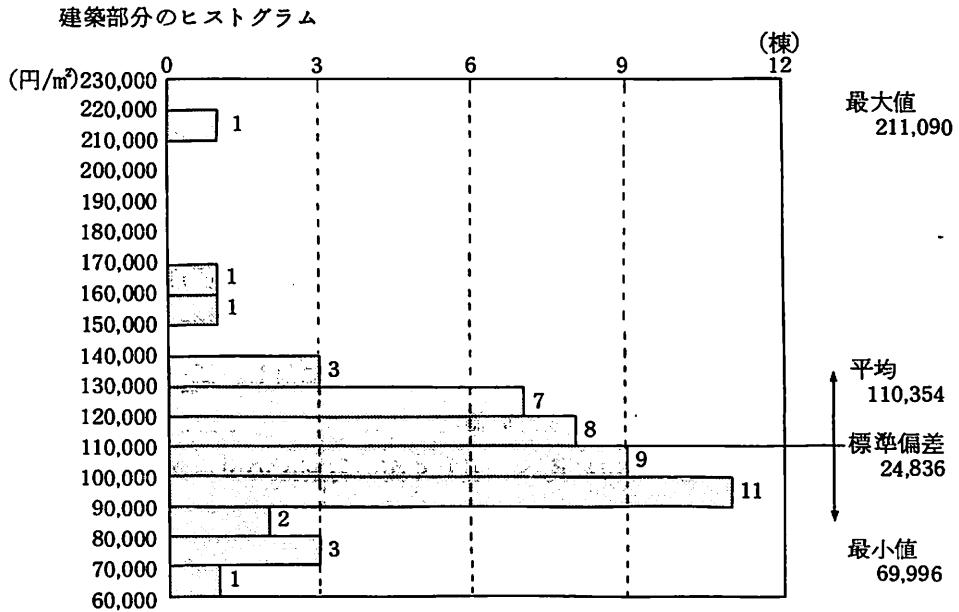


図3 建築部分と建築設備部分の段階別区分状況

(2) 建築価額等の地域差

ア 概 要

① 建築価額

建築価額のデータ概要は、2-(1)、表2のとおりであるが、これを調査対象都市ごとに示すと図4のとおりである。建築価額の高い都市は、特別区、大津市、浦和市、前橋市、鳥取市、であり、逆に低い都市は、徳島市、福岡市、大分市、宮崎市、鹿児島市である。また、建築価額の高い5都市の偏差値(注1)は、90、71、66、61、60であるのに対し、低い5都市の偏差値は32、35、36、39、41となっている。

建築価額が他の都市に比べ、著しく高い特別区のデータを見ると、かなり程度のよい建物であった。

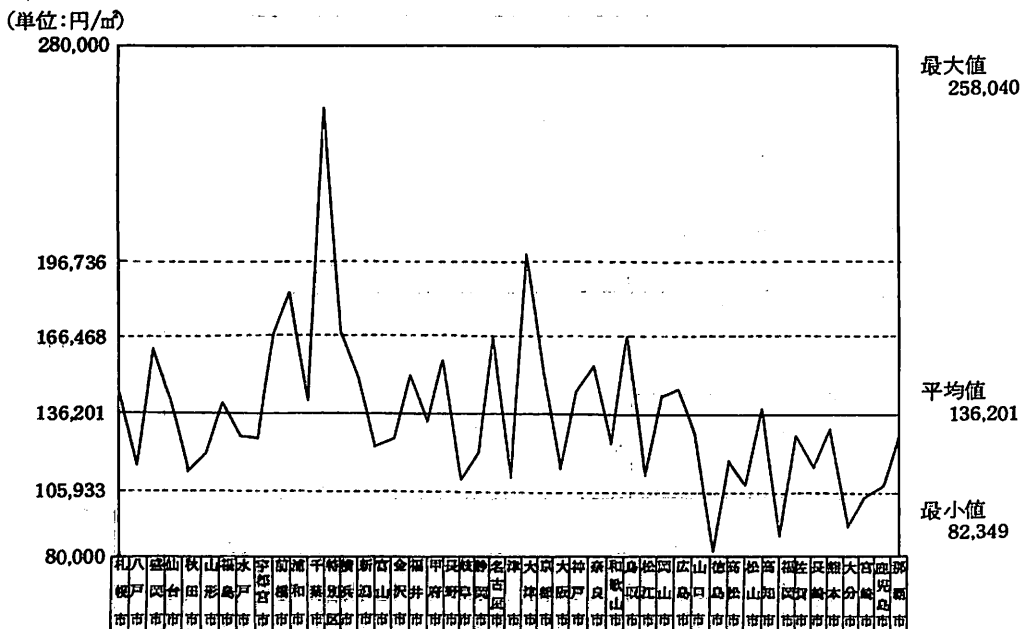


図4 建築価額の都市別比較

(注1) 偏差値 (Z) とは、 $Z = 50 + \frac{x - \bar{x}}{s} \times 10$  で求められる数値であり、

個々のデータ数値 (x) と平均値 ( $\bar{x}$ ) との差を標準偏差 (s) を尺度として表したものである。したがって、 $x = \bar{x}$  の時  $Z = 50$ 、 $x = \bar{x} \pm as$  の時、 $Z = 50 \pm 10a$  となる。



また、建築価額と再建築費評点数の比較を行うと図6のように表すことができる。

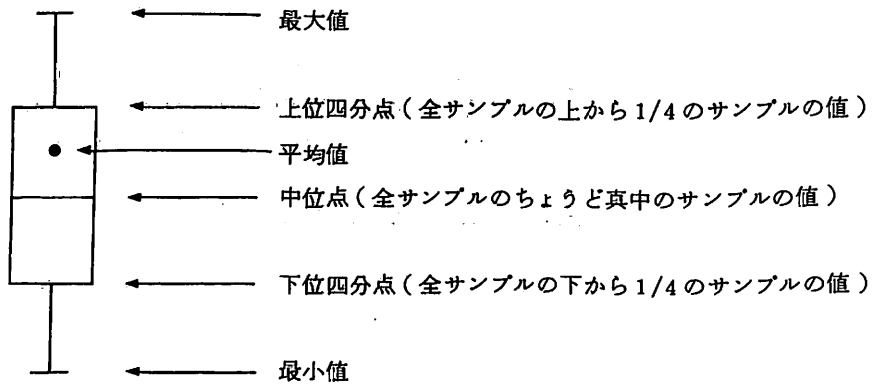
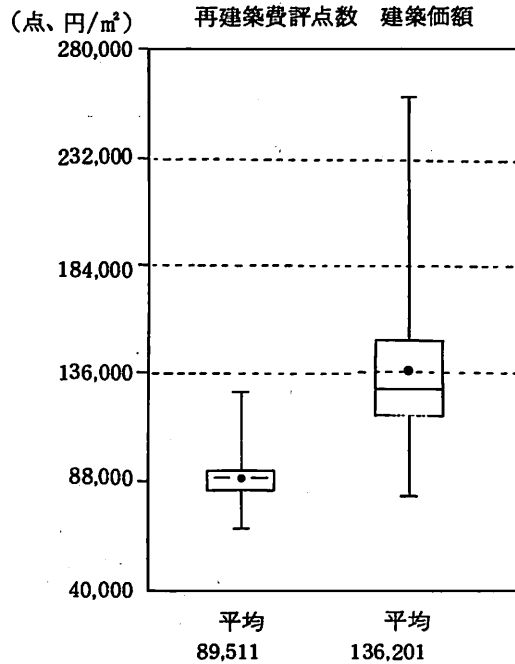


図6 建築価額と再建築費評点数の比較

図6を見ると再建築費評点数は、建築価額に比べて非常にバラツキが小さいが、これは、建築価額に含まれる取引上の個別的事情等が再建築費評点数では、排除されることになるためと考えられる。

## イ 地域差

### ① 建築価額

全国を14地域に区分し、各地域の建築価額の平均を示したものが図7である。(なお、北海道については札幌市の1データのみであるので平均値とはなっていない。以下地域区分について同様である。)

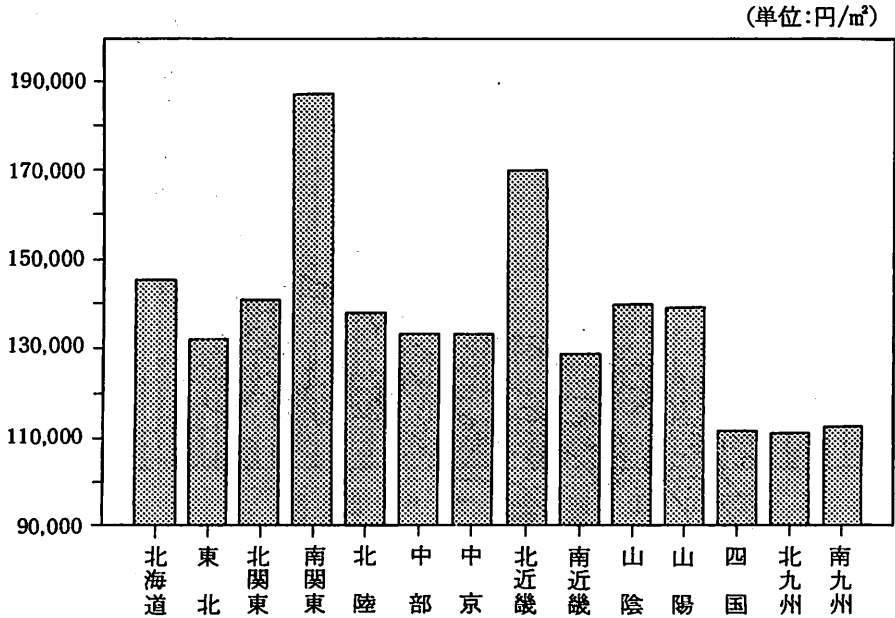


図7 建築価額の地域差

図7をみると、南関東が際立って高く、次いで北近畿が高くなっており、逆に低い方では、北九州が最も低く、次いで四国、南九州の順となっている。

南関東では、4データとも全国平均(136,201)を上回っており、おおむね建築価額が高いものといえる。また北近畿も3データ全部が全国平均を上回っている。低い方では、北九州、南九州、全データとも全国平均を下回っており、また、四国は4データのうち3データが全国平均を下回っており、建築価額が低いといえる。

また、図4に示された各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図8である。

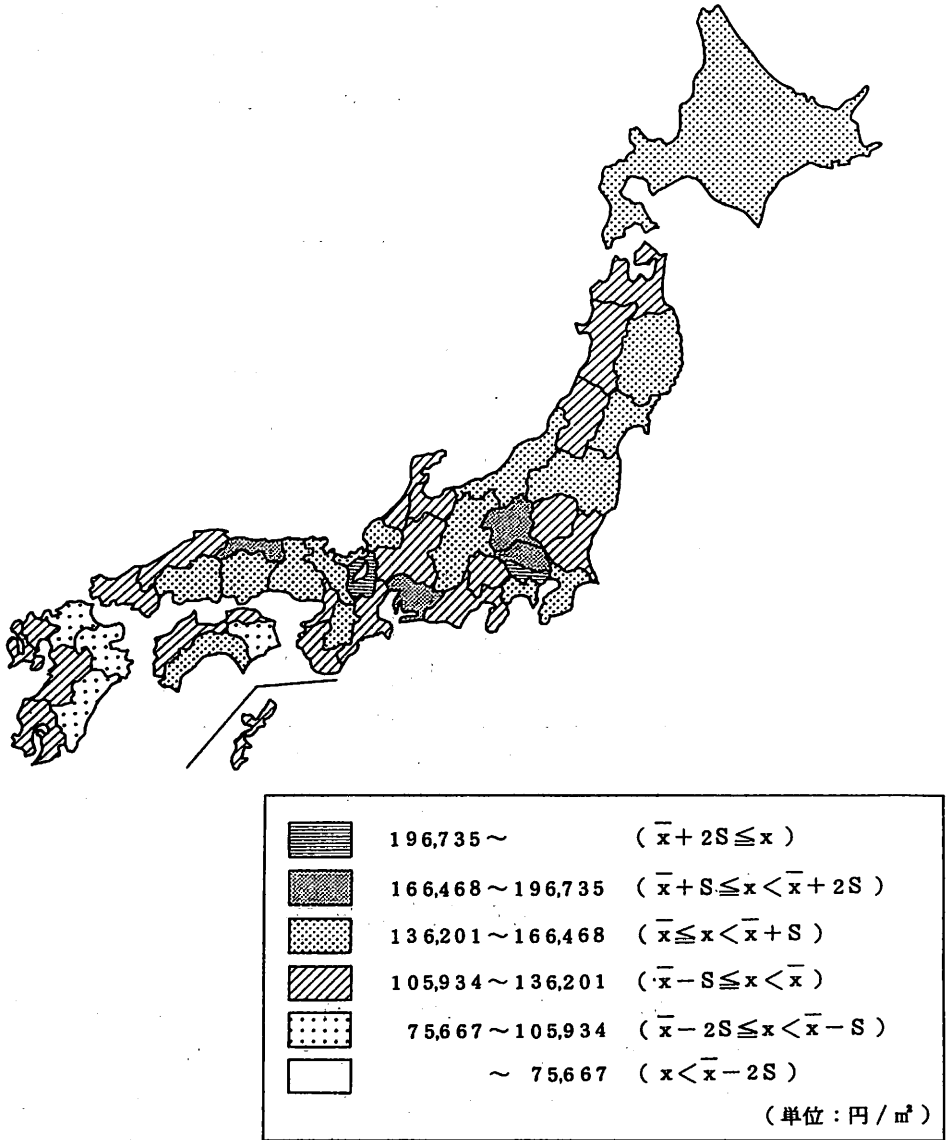


図8 建築価額の都道府県別状況

図8をみると、東京近辺の建築価額が高いことがわかる。

② 再建築費評点数

建築価額と同様に、全国を14地域に区分し、各地域の再建築費評点数の平均を示したものが図9である。

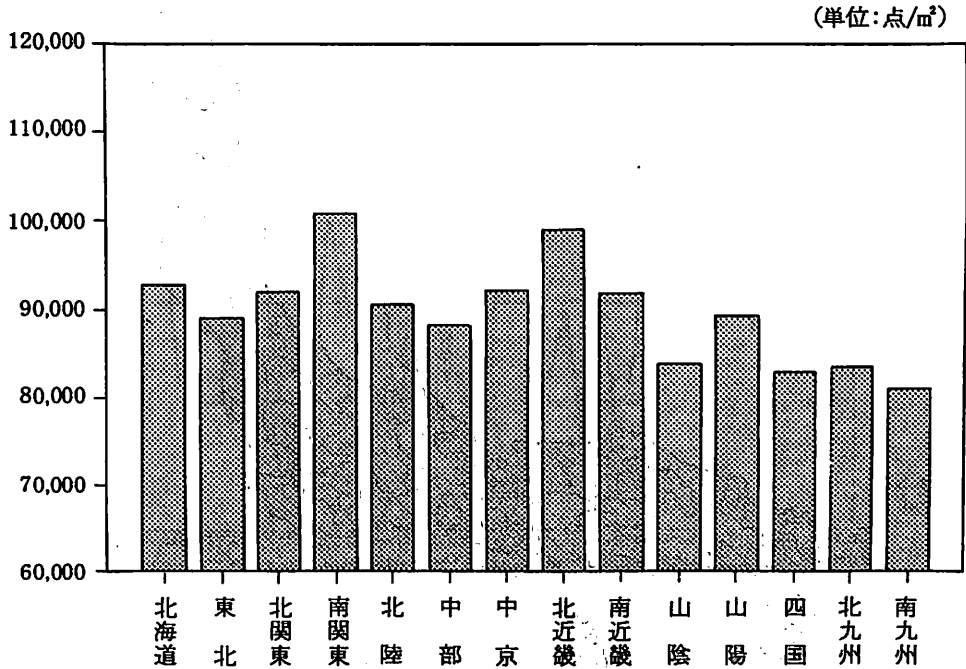


図9 再建築費評点数の地域差

図9をみると、南関東、北近畿、北海道、中京の順で高く、南九州、四国、北九州、山陰の順に低くなっている。しかし、南関東を除くと他の地域の平均値はすべて標準偏差区間に入っており、再建築費評点数においては、比較的地域差はないといえる。これは調査対象家屋の一戸当たり床面積、階数、住戸数、延べ床面積等のバラツキ、及び各戸の間取り等を特に指定しなかったことを考えると、今回の調査対象家屋の品等、施工の程度の地域差は少なかったと考えられる。

また、図5に示された各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図10である。

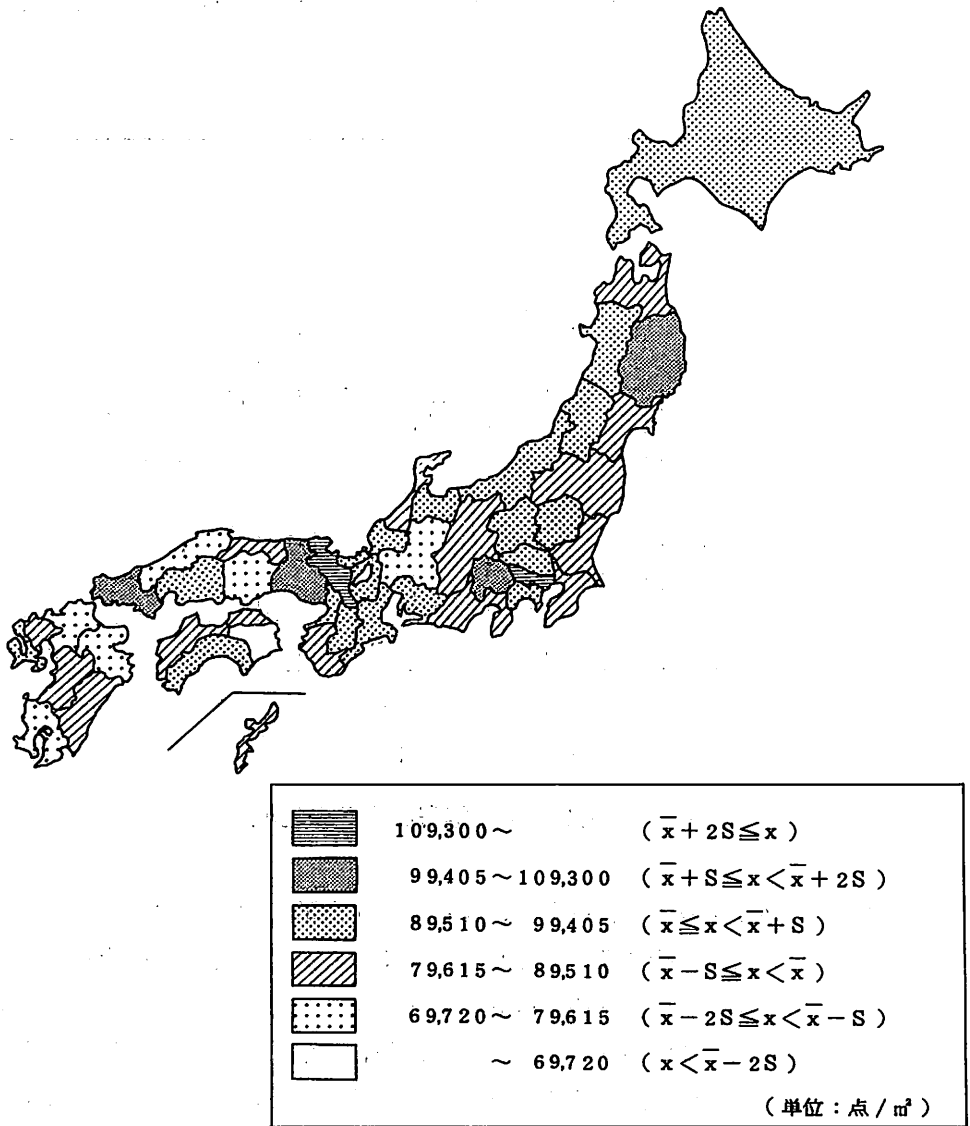


図10 再建築費評点数の都道府県別状況





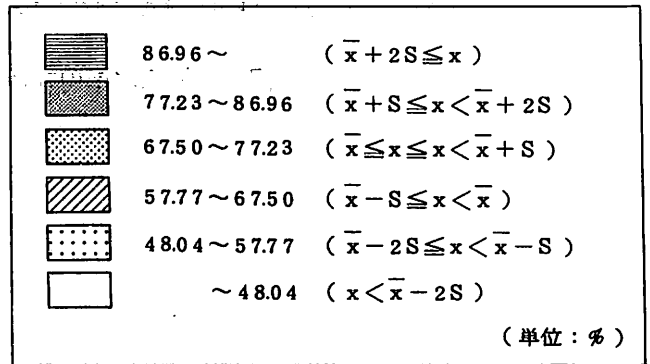
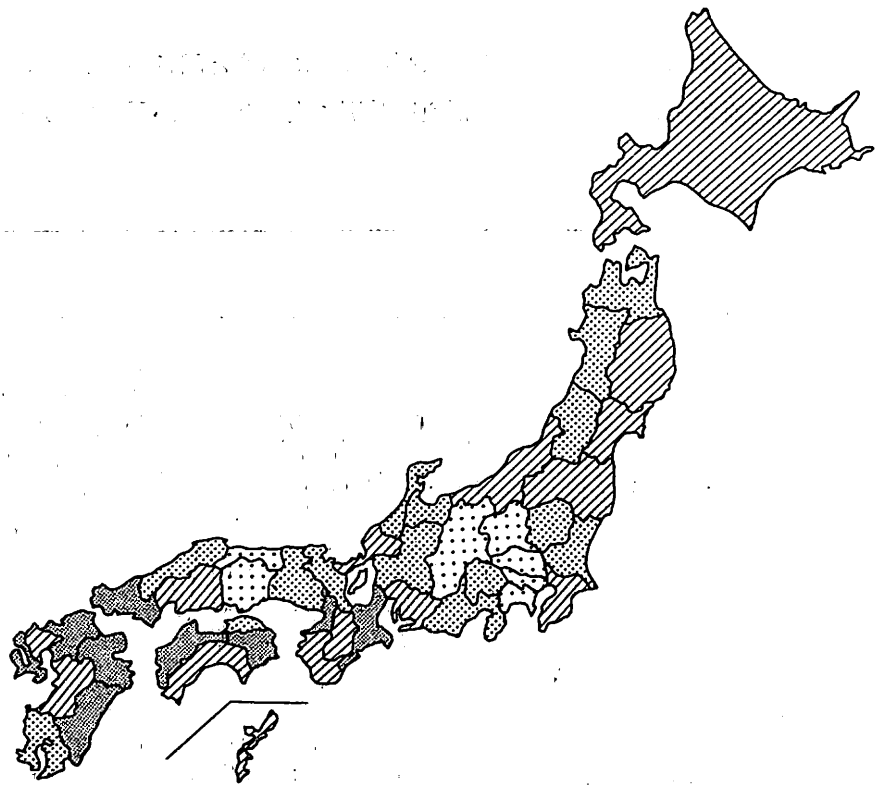


図12 評点水準の都道府県別状況

評点水準の平均、最高、最低、標準偏差は2-(1)、表2のとおりである。ここでは最高値は86.25%であり、建築価額と再建築費評点数が極めて近い値となっているが、これが地域の特性によるものか否かは、家屋の個別的事情もあるため、当該1データからは一概に判断できない。他にデータの範囲60.10%、標準偏差の平均に対する割合0.160、標準偏差区間におけるデータの数は38個であり、全データの80.85%を占めている。これは評点水準においても、建築価額や再建築費評点数と同様にかなりの偏差があることを示している。しかし評点水準は凡例で定義したとおり、建築価額と再建築費評点数の関係で定まるものであり、具体的には両者の比較関連を行うことによって分析することとなる。このため、両者の散布図を表すと図13のとおりとなり、相関計数は、0.730、回帰式（図中の直線の式）は $Y$ （再建築費評点数） $= a X$ （建築額） $+ b$ 、 $a = 0.238498$ 、 $b = 57027.1$ となっている。

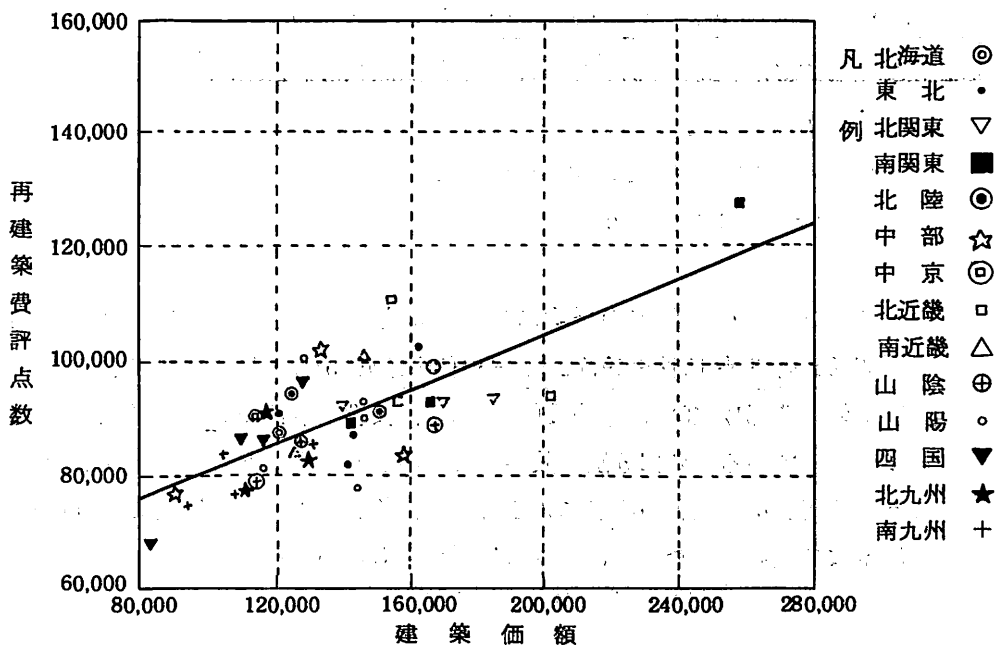


図13 再建築費評点数と建築価額

この相関計数0.730は過去5年間の調査の中でも高い数値となっており、今回の調査からは建築価額と再建築費評点数の間はかなり強い相関関係があるものと認められる。

### 3 部分別の施工状況等の調査

#### (1) 再建築費評点数の部分別構成比

平成元年度の調査対象家屋について、固定資産評価基準に定める各部分別の再建築費評点数の構成状況をみると表4のとおりである。

表4 再建築費評点数の部分別構成比

(単位：%)

区 分	主体 構造 部	基 礎	間 仕 切 骨 組	外 部 仕 上 げ	内 部 仕 上 げ	床 仕 上 げ	天 井 仕 上 げ	屋 根 仕 上 げ	建 具	仮 設 工 事	そ の 他 の 工 事	建 築 設 備
最 高	46.50	9.56	3.94	17.23	14.28	7.32	5.60	3.70	16.60	5.74	3.96	25.55
最 低	27.08	0.66	0.04	1.04	4.29	3.11	1.43	0.08	7.70	2.31	1.41	12.47
平 均 (構成比)	35.32	3.10	1.79	4.86	8.83	5.03	3.26	1.51	11.44	3.72	2.25	17.95
標準偏差	4.38	2.36	0.89	2.87	1.89	0.91	0.79	0.74	2.11	0.69	0.45	2.88

- (注) 1. 各数値は、小数点以下第3位を四捨五入。  
 2. 外周壁骨組、特殊設備に係る評点付設がなされている調査対象家屋があったが、サンプル数が少ないことから除外した。

各部分別の標準偏差の平均に対する割合を見ると基礎76.13%、外部仕上げ59.05%、間仕切骨組49.72%、屋根仕上げ49.01%の順に大きく、逆に小さいのは主体構造部12.40%、建築設備12.40%、仮設工事18.55%、床仕上げ18.09%の順となっている。各部分別で数字の大きいものの原因としては、外部仕上げのように使用資材の品質の相違によるものと、基礎のように杭打地業の有無や杭の使用本数の違い等の資材の使用量に起因するものがある。

(2) 再建築費評点数の地域別部分別構成比

次に、地域別の構成比を示すと表5のとおりである。

表5 再建築費評点数の地域別部分別構成比

(単位：%)

区 分	主体 構造部	基 礎	間 仕 切 骨 組	外 部 仕 上 げ	内 部 仕 上 げ	床 仕 上 げ	天 井 仕 上 げ	屋 根 仕 上 げ	建 具	仮 設 工 事	そ の 他 の 工 事	建 築 設 備
北海道	29.34	7.66	1.14	4.81	9.76	4.37	3.40	1.57	12.24	3.57	1.94	20.20
東北	36.48	4.11	1.58	4.42	8.13	5.13	3.06	1.49	10.97	3.51	3.51	19.02
北関東	34.43	4.20	1.93	6.50	8.23	4.58	3.00	1.61	11.65	4.59	2.41	16.87
南関東	32.58	4.13	1.80	6.45	8.37	5.12	2.97	1.62	11.91	3.24	1.82	19.84
北陸	35.10	4.10	1.92	5.65	8.88	4.73	3.91	1.87	9.83	3.66	2.38	17.65
中部	38.24	3.47	1.05	3.68	9.90	4.98	3.71	0.76	10.37	3.03	2.45	18.36
中京	35.97	5.18	2.12	4.69	9.66	5.07	3.59	1.51	10.59	3.47	2.09	16.06
北近畿	34.23	3.01	1.47	10.71	9.10	3.90	2.98	2.10	11.00	3.33	1.93	16.24
南近畿	33.66	2.58	2.57	5.08	8.58	4.28	3.45	0.86	11.77	3.62	2.77	20.74
山陰	35.05	7.04	1.11	3.50	8.30	5.90	2.54	0.93	11.16	3.96	2.15	18.16
山陽	38.92	3.12	1.87	2.71	9.02	5.12	3.61	1.36	10.27	3.96	2.30	17.73
四国	33.57	3.75	2.08	4.61	9.12	5.31	3.50	1.67	13.16	4.04	2.37	16.82
北九州	35.47	4.05	1.27	4.25	7.53	5.51	2.63	1.75	11.59	3.90	2.24	19.83
南九州	36.77	3.34	2.22	2.12	9.65	5.72	3.20	1.61	13.16	4.16	2.35	15.69

(注) 1. 各数値は、各データの構成比を地域ごとに平均したものである。

2. 外周壁骨組と特殊設備を除いている。

3. 各数値は、小数点以下第3位を四捨五入。

表5から、偏差の大きい地域(表4による標準偏差区間外の地域)を各部分別にみていくと次のとおりである。

① 主体構造部

北海道が標準偏差区間より下にある。

② 基礎

北海道、山陰が標準偏差区間より上にある。

③ 間仕切骨組

全地域が標準偏差区間内にある。

- ④ 外部仕上げ  
北近畿が標準偏差区間より上にある。
- ⑤ 内部仕上げ  
全地域が標準偏差区間内にある。
- ⑥ 床仕上げ  
北近畿が標準偏差区間より下にある。
- ⑦ 天井仕上げ  
全地域が標準偏差区間内にある。
- ⑧ 屋根仕上げ  
中部が標準偏差区間より下にある。
- ⑨ 建具  
全地域が標準偏差区間内にある。
- ⑩ 仮設工事  
北関東が標準偏差区間より上にある。
- ⑪ その他の工事  
南近畿が標準偏差区間より上にある。
- ⑫ 建築設備  
全地域が標準偏差区間内にある。

建築設備を電気設備、衛生設備、空調設備、防災設備、運搬設備の五種類に区分し、再建築費評点数に占める割合の状況を示すと表6のとおりである。

表6 建築設備の再建築費評点数に占める割合の状況

(%)

データ数 (個)	建築設備	電気設備	衛生設備	空調設備	防災設備	運搬設備
	47	47	47	44	25	8
平均	17.95	4.63	11.86	0.50	1.12	3.14
最高	25.55	6.09	18.97	1.66	2.02	6.15
最低	12.47	2.87	7.89	0.21	0.05	1.21
標準偏差	2.88	0.80	2.40	0.33	0.51	1.42

表6をみると、電気設備、衛生設備はすべての調査対象家屋に施工されており、空調設備（換気設備）もほとんど施工されている。これは、住宅において通常施工される設備がこの三種類の設備の内訳に含まれているからである。これに対して、防災設備、運搬設備は一棟の建物に備えられているか否かという性格の設備であり、その有無が分かれている。これらの設備は法令によって一定規模以上になると設置が義務付けられているものもある。

#### 4 主要資材に係る価格の状況調査

今回の調査においても、調査対象都市における生コンクリート（呼び強度 $180\text{kg}/\text{cm}^3$ ・スランプ $18\text{cm}$ 及び $21\text{cm}$ 、呼び強度 $210\text{kg}/\text{cm}^3$ ・スランプ $18\text{cm}$ 及び $21\text{cm}$ ）の $1\text{m}^3$ 当たり価格を引き続き調査した。また、鉄筋については、昭和63年度と同じ鉄筋コンクリート用異形棒鋼（J I S規格SD30）の径 $10\text{mm}$ 、 $13\text{mm}$ 及び $19\sim 25\text{mm}$ のものの $1\text{t}$ 当たり価格について調査した。

##### (1) 生コンクリート

生コンクリートの価格の状況を示すと表7のとおりである。

表7 生コンクリート価格の状況

（単位：円/ $\text{m}^3$ ）

区分		最 高	最 低	平 均	標準偏差	データ数
180	18cm	15,750	6,550	12,060	2,113	30
	21cm	15,250	9,360	12,134	1,950	21
210	18cm	18,000	9,410	12,635	2,068	41
	21cm	15,650	9,840	12,253	1,950	23

表7をみると、平均では呼び強度 $180\text{kg}/\text{cm}^3$ 、スランプ $18\text{cm}$ 、 $21\text{cm}$ 、呼び強度 $210\text{kg}/\text{cm}^3$ 、スランプ $21\text{cm}$ 、 $18\text{cm}$ の順に高くなっている。

また、生コンクリートの地域差を見るために、全国を14地域に区分して、各地域の平均を求めると表8のとおりである。

表8 生コンクリート価格の地域差

(円/㎡)

地域 \ 区分	180 kg/cm <sup>3</sup>		210 kg/cm <sup>3</sup>	
	18cm	21cm	18cm	21cm
(1) 北海道	—	—	14,800	—
(6) 東北	(4) 13,575	(3) 13,833	14,470	(3) 14,250
(3) 北関東	(1) 10,100	(1) 10,100	10,133	10,133
(4) 南関東	(1) 11,400	(1) 11,400	11,888	(1) 10,000
(4) 北陸	12,863	(1) 11,700	(3) 13,400	(1) 12,000
(3) 中部	(2) 12,175	(2) 12,950	13,717	(1) 11,700
(3) 中京	(1) 13,950	(2) 12,475	(2) 13,500	(1) 14,500
(3) 北近畿	(1) 15,750	—	(2) 12,650	(1) 12,300
(3) 南近畿	(2) 10,435	(2) 10,630	11,697	11,840
(2) 山陰	14,290	14,445	15,030	15,195
(3) 山陽	(2) 13,675	(1) 15,250	(2) 14,525	(1) 14,800
(4) 四国	10,050	(3) 9,990	(3) 10,283	(3) 10,640
(3) 北九州	10,067	(2) 12,050	(2) 10,825	(2) 12,625
(5) 南九州	(3) 11,000	(1) 9,800	(4) 11,825	(1) 10,300

(注) ( )内の数字は各地域内の都道府県数及び平均を求めるために用いたデータ数、記入がないものは、その地域に属する都道府県のデータの平均である。また、平均値は小数点以下を四捨五入した。

データ数が1団体分しかない区分については個別的事情に左右され易いため、複数のデータが存する区分について比較してみると北関東、四国が安く、山陰、東北が高くなっている。



(2) 鉄筋

鉄筋の価格の状況を示すと表9のとおりである。

表9 鉄筋価格の状況

(単位：円/t)

区分	最高	最低	平均	標準偏差	データ数
10mm	110,000	32,300	53,387	14,829	47
13mm	110,000	31,300	51,102	14,056	45
19~25mm	110,000	31,000	49,924	13,822	45

表9をみると、鉄筋の価格はかなりバラツキがあるように見える。また、個々のデータをみるとおおむね鉄筋は10mm、13mm、19~25mmの順に安くなっているといえる。

また、鉄筋価格の地域差をみるために、全国を14地域に区分して、各地域の平均を求めると表10のとおりとなる。

表10 鉄筋価格の差

(円/t)

地域 \ 区分	10mm	13mm	19~25mm
(1) 北海道	39,000	38,000	37,000
(6) 東北	54,000	52,333	50,666
(3) 北関東	45,433	44,100	44,100
(4) 南関東	41,375	41,000	41,250
(4) 北陸	53,750	51,625	49,500
(3) 中部	58,000	56,000	54,666
(3) 中京	51,406	50,600	49,266
(3) 北近畿	49,166	47,833	(2) 48,000
(3) 南近畿	54,166	52,833	51,500
(2) 山陰	57,000	55,000	54,000
(3) 山陽	65,666	(2) 53,500	(2) 53,000
(4) 四国	53,000	(3) 50,333	47,750
(3) 北九州	42,333	41,000	39,666
(5) 南九州	68,200	66,400	64,800

(注) ( ) 内の数字は各地域内の都道府県の数及び平均を求めるために用いたデータ数。記入がないものは、その地域に属する都道府県のデータの平均である。また、平均値は小数点以下を四捨五入した。

表10をみると、南九州、山陽が高く、南関東、北九州が低くなっている。

生コンクリート及び鉄筋についてはかなり価格差が大きくなっているが、これは、時期による価格の変動が大きいことに起因している可能性が高いため、一概に地域による差と認めることはできないものと考えられる。

## 5 施工会社及び販売形態の状況調査

### (1) 施工会社の状況

調査対象家屋の施工会社を免許登録別に区分すると、表11のとおりである。

表11 施工会社の状況

区 分	建設大臣登録	知事登録
社 数	30	17

今回の調査における建設大臣登録と知事登録の会社数の割合は6：4で、建設大臣登録の方が多かった。

また、住戸数、工事価額の各段階区別に施工会社の状況をみると表12のとおりである。

表12 住戸数、工事価額別の施工会社の状況

(住 戸 数 別)

住戸数 (戸)	棟 数	施工会社の状況	
		建設大臣 登 録	知事登録
1～10	—	—	—
11～20	19	13	6
21～30	16	9	7
31～40	9	6	3
41～50	2	1	1
51～	1	1	—

(工 事 価 額 別)

工事価額 (億円)	棟 数	施工会社の状況	
		建設大臣 登 録	知事登録
～ 1	2	1	1
1～ 2	23	14	9
2～ 3	15	9	6
3～ 4	3	3	—
4～ 5	2	2	—
5～	2	1	1

一般的には規模の大きいもの、あるいは工事価格の高いものは、建設大臣登録の会社が施工していると思われるが今回のデータからは必ずしもそのような傾向は読みとれない。

(2) 販売形態の状況

調査対象家屋の販売形態を分譲か賃貸か、民間会社か、公団・公社かに区分すると表13のとおりである。

表13 販売形態の状況

区 分	分 譲		賃 貸	
	民間会社	公団・公社	民間会社	公団・公社
棟 数	7	—	37	4

(注) 民間会社のもの、分譲と賃貸の両方のものが1棟あった。

表13をみると、民間会社の賃貸住宅が調査対象家屋の大半を占めていることがわかる。

### Ⅲ. 調査結果 — 昭和60年度～平成元年度をまとめて —

#### 1. 目的

1-1で述べたとおり、本調査は昭和60年度から実施してきたものであるが、今年度をもって終了するため、5ヶ年の調査の比較を行うこととする。

#### 2. 調査対象家屋の年度別比較

各年度の調査対象家屋の階数、住戸数、延べ床面積、一戸当たり延べ床面積の状況を比較すると表14のとおりである。

表14 調査対象家屋の年度別状況比較

区分	最高	最小	平均	標準偏差	
階数 (階)	60	7	3	4.4	0.9
	61	7	3	4.2	0.8
	62	7	3	4.3	1.0
	63	9	3	4.5	1.4
	元	9	3	4.1	1.3
住戸数 (戸)	60	59	12	28.4	9.7
	61	154	9	27.3	20.8
	62	98	12	27.5	12.8
	63	51	6	24.1	9.5
	元	51	12	24.3	10.1
延べ床面積 (㎡)	60	3,420.27	761.64	1,745.65	659.95
	61	12,588.48	531.36	1,810.77	1,731.67
	66	6,856.09	433.73	1,732.99	974.34
	63	3,881.40	499.80	1,603.90	712.09
	元	4,247.81	535.50	1,643.43	699.87
一戸当たり延べ床面積 (㎡)	60	88.60	23.22	62.54	14.22
	61	92.19	39.70	65.05	11.95
	62	85.97	30.98	62.87	14.73
	63	107.05	20.83	67.32	14.27
	元	93.46	41.69	68.85	12.48

- (注) 1. 階数、住戸数は小数第2位を四捨五入。  
2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積は小数第3位を四捨五入。

表14をみると61年度の調査対象家屋の住戸数、延べ面積の最高が突出しているが、このことは、平均にはそれほど影響はない。各年度の差異を平均でみると大きな差はなく、調査対象家屋の規模等の変化はなかったといえる。

次に、建築価額、再建築費評点数、評点水準の状況について比較すると表15のとおりである。

表15 建築価額等の年度別状況比較

区 分		最 高	最 小	平 均	標準偏差
建 築 価 額 (円)	60	168,136	92,190	129,774	20,309
	61	218,533	94,728	128,691	24,732
	62	215,884	85,648	131,929	25,398
	63	180,017	77,715	134,945	26,826
	元	258,040	82,349	136,201	30,267
再 建 築 費 評 点 数 (点)	60	121,187	70,303	87,037	9,635
	61	117,412	66,459	89,591	10,603
	62	118,392	71,621	87,992	10,529
	63	109,410	60,722	89,918	10,662
	元	127,318	67,526	89,510	9,895
評 点 水 準 (%)	60	97.46	48.59	68.42	11.46
	61	87.92	39.23	71.26	11.15
	62	94.07	41.55	68.56	12.57
	63	99.32	51.30	68.17	9.93
	元	86.25	46.81	67.50	9.73

(註) 再建築費評価点数は、昭和60年度～昭和62年度調査分は、昭和60基準により、また、昭和63年度、平成元年度調査分は昭和63年基準によるものである。

この両評価基準間の評価上昇割合は、1.0なので適用評価基準の違いによる修正は行っていない。

以下、各表とも同じ。

表15をみると、各データに多少のバラツキはみられるものの、平均と標準偏差は5ヶ年ともほとんど変動がなく、マクロ的にみれば資材量、程度の差異は少ないと考えられる。また、建築価額の平均がほぼ同じであることから、昭和60年から平成元年の5年間は、建築費の変動はほとんどなかったと推測できる。

表14、15を合わせて考察すると、昭和60年度から平成元年度までの各年度のデータは、マクロ的にはほぼ同様の集団であると考えられる。

### 3. 過去5ヶ年の調査結果の概要

過去5ヶ年の調査データ全てを対象にして分析を行った結果が、表16である。

また、再建築費評点数と建築価額の関係を散布図で示すと図14のとおりである。この場合、両者の回帰式を $Y = a x + b$ で表すと $a = 0.221127$ 、 $b = 59,552.7$ となり、相関係数は、0.594であり、両者は正の相関関係にある。このように両者の相関関係があまり強くない理由としては、調査対象家屋の工事費が家屋評価対象外の部分をも含めて見積りされており、その総額から値引を行ったり、各個の工事内容ごとに値引きが行われたりして最終工事価格が算出されており、家屋評価対象部分の工事価格というものが正確に把握できず、個体差があるため、同価格で建築した家屋でも再建築費評点数は必ずしも同じにならないことや、その逆に建築価額が異っても再建築費評点数が同じになる場合があることが原因だと考えられる。

次に、都道府県別に5ヶ年のデータを平均したものが表17であり、全国を14地域に区分して示したものが表18である。

また、表18のデータをもとに建築価額（5ヶ年分）の地域差をグラフにしたものが図15であり、再建築費評点数（5ヶ年分）の地域差をグラフにしたものが図16である。

表16 調査対象家屋の状況（5ヶ年平均）

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
階 数 (階)	9	3	4.28	1.08
戸 数 (戸)	154	6	26.30	13.28
延 べ 床 面 積 (㎡)	12,588.48	433.73	1,707.35	1,031.13
一戸当たり延べ床面積(㎡/戸)	107.05	20.83	65.33	13.68
建 築 価 額 (円)	258,040	77,715	132,308	25,653
再 建 築 費 評 点 数 (点)	127,318	60,772	88,810	10,246
評 点 水 準 (%)	99.32	39.23	68.78	10.10

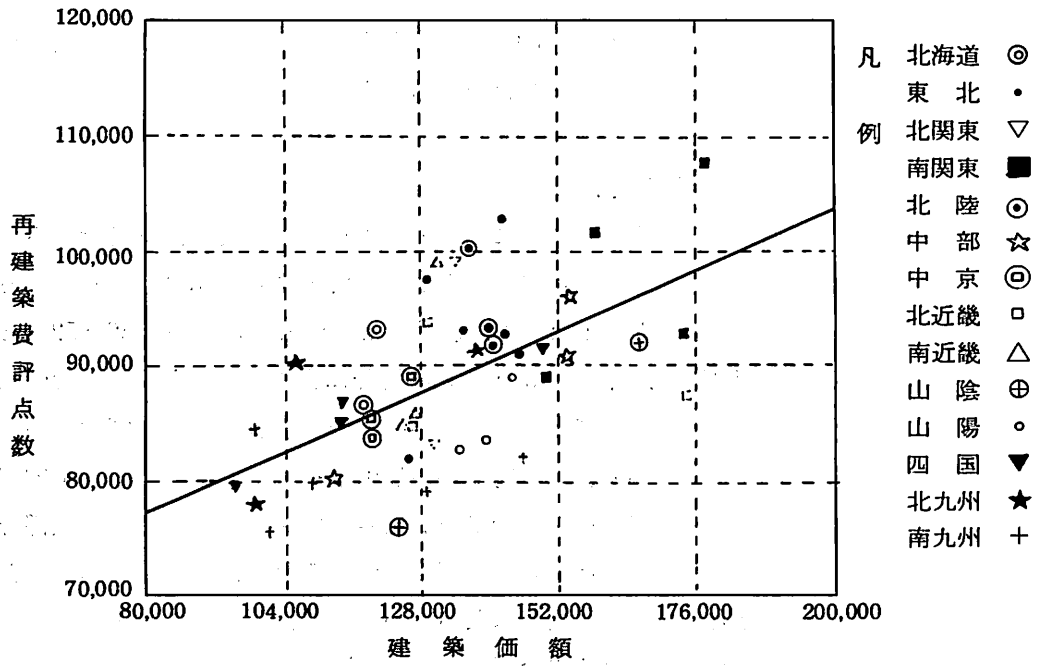


図14 再建築費評点数と建築価額の散布図（5ヶ年平均）



表17 都道府県別調査対象家屋の状況（5ヶ年平均）

調査都府県	戸数 (戸)	階数 (階)	延べ床面積 (㎡)	一戸当たり 延べ床面積 (㎡/戸)	建築価額 (円/㎡)	再建築費 評点数 (点/㎡)	評点水準 (%)
札幌	39.2	4.6	2,602.25	64.24	119,451	92,951	80.24
青森	19.4	4.2	1,555.11	80.34	134,323	92,834	70.05
盛岡	22.0	3.4	1,147.63	55.97	141,464	102,798	72.73
仙台	28.2	4.0	1,427.14	51.97	139,552	92,278	66.54
秋田	24.8	3.8	1,443.00	59.24	128,307	97,363	76.12
山形	19.0	3.6	1,206.05	65.77	144,242	90,884	64.76
福島	24.4	4.0	1,455.90	60.11	125,170	81,750	65.62
水戸	31.2	4.8	2,046.49	63.90	139,908	92,228	66.18
宇都宮	24.2	4.4	1,549.07	63.98	133,072	98,930	75.49
前橋	22.8	4.2	1,487.88	66.07	129,767	83,317	66.01
浦和	24.4	4.0	1,659.79	67.60	173,944	92,830	53.46
千葉	24.2	4.2	1,574.93	65.27	149,554	88,908	60.49
特別区	40.2	4.4	2,722.15	67.40	177,359	107,777	62.53
横浜	33.4	3.8	1,862.58	56.11	157,969	101,354	64.56
新潟	26.0	4.4	1,962.51	75.63	141,929	92,654	65.74
富山	21.2	3.8	1,577.64	74.75	117,029	86,367	74.75
金沢	25.0	4.4	1,678.29	70.92	138,940	92,983	67.11
福井	17.4	4.2	1,378.52	80.52	135,671	100,196	74.73
甲府	24.0	3.8	1,351.83	56.51	153,616	96,074	63.08
長野	19.2	3.8	1,241.90	66.74	153,201	90,810	59.78
岐阜	22.4	4.0	1,376.90	61.14	112,388	80,193	72.44
静岡	25.0	4.2	1,916.03	76.02	118,133	85,409	72.41
名古屋	23.4	4.0	1,566.66	68.88	125,406	88,919	72.71
津	19.8	4.6	1,260.05	62.96	118,517	83,655	70.70
大津	19.2	3.8	1,166.54	59.96	174,131	87,512	51.80
京都	31.4	4.2	2,129.76	67.18	128,349	93,615	73.46
大阪	38.0	7.0	2,511.03	66.20	130,028	98,992	76.24
神戸	29.8	3.8	2,025.55	68.50	126,428	85,601	67.61
奈良	34.6	5.4	5,121.23	75.15	125,957	84,760	68.00
和歌山	31.4	4.6	2,060.84	66.35	124,448	84,909	68.24
鳥取	18.6	3.8	1,294.87	72.96	165,835	91,996	56.76
松江	21.2	3.8	1,607.64	75.21	123,382	75,901	61.91
岡山	22.4	4.0	1,685.06	75.65	137,934	83,651	60.85
広島	22.2	4.2	1,439.62	65.09	134,024	82,642	61.97
山口	20.4	4.4	1,173.30	58.35	143,375	88,829	62.63
徳島	31.4	4.4	1,851.51	58.56	95,597	79,393	82.96
高松	20.4	3.8	1,287.19	63.02	114,013	86,404	75.91
松山	28.0	4.2	1,639.23	58.61	113,414	84,865	75.00
高知	19.4	3.8	1,349.31	72.56	148,636	91,475	61.69
福岡	28.0	4.2	1,800.97	65.44	99,096	77,952	79.23
佐賀	22.8	4.0	1,199.93	50.94	136,726	91,101	68.82
長崎	29.8	6.0	1,943.28	65.76	105,880	89,988	85.25
熊本	31.8	4.2	1,809.62	67.27	128,500	79,048	61.75
大分	25.0	4.8	1,600.74	64.56	101,364	75,576	77.00
宮崎	27.0	4.8	1,466.17	54.53	98,218	84,151	85.92
鹿児島	28.0	5.0	1,815.03	64.56	108,764	79,962	74.50
那覇	23.6	4.4	1,216.70	51.91	145,469	82,272	56.96

- (注) 1. 階階数、住戸数は小数点以下第2位を四捨五入。  
 2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積、評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。  
 3. 建築価額、再建築費評点数は小数点以下切捨て。  
 4. 青森には八戸、山形には米沢市、鶴岡市を含み、福岡には北九州市を含む。

表18 地域別調査対象家屋の状況（5ヶ年平均）

項目 地域	戸数 (戸)	階数 (階)	延べ床面積 (㎡)	一戸当たり 延べ床面積 (㎡/戸)	建築価額 (円)	再建築費評 点数(点)	評点水準 (%)
北海道	39.2	4.6	2,602.24	64.24	119,451	92,951	80.24
東北	23.0	3.8	1,372.47	62.23	135,510	92,985	69.30
北関東	26.1	4.5	1,694.47	64.64	134,249	91,492	69.23
南関東	30.6	4.1	1,954.86	64.09	164,707	97,717	60.26
北陸	22.4	4.2	1,649.23	75.45	133,393	93,050	70.58
中部	21.9	3.9	1,323.54	61.46	139,735	89,026	65.10
中京	22.7	4.3	1,580.91	69.28	120,686	85,994	71.94
北近畿	38.7	4.5	2,805.84	67.42	142,813	88,629	64.42
南近畿	33.1	5.1	2,199.14	67.01	126,968	89,834	70.70
山陰	19.9	3.8	1,451.25	74.08	144,609	83,948	59.33
山陽	21.7	4.2	1,432.66	66.36	138,445	85,041	61.82
四国	24.8	4.1	1,531.80	63.18	117,915	85,534	73.89
北九州	26.9	4.7	1,648.05	60.71	113,901	86,347	77.77
南九州	27.1	4.6	1,581.65	60.56	116,464	80,202	71.23

(注) 1. 階数、住戸数は小数第2を四捨五入。

2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積、評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。

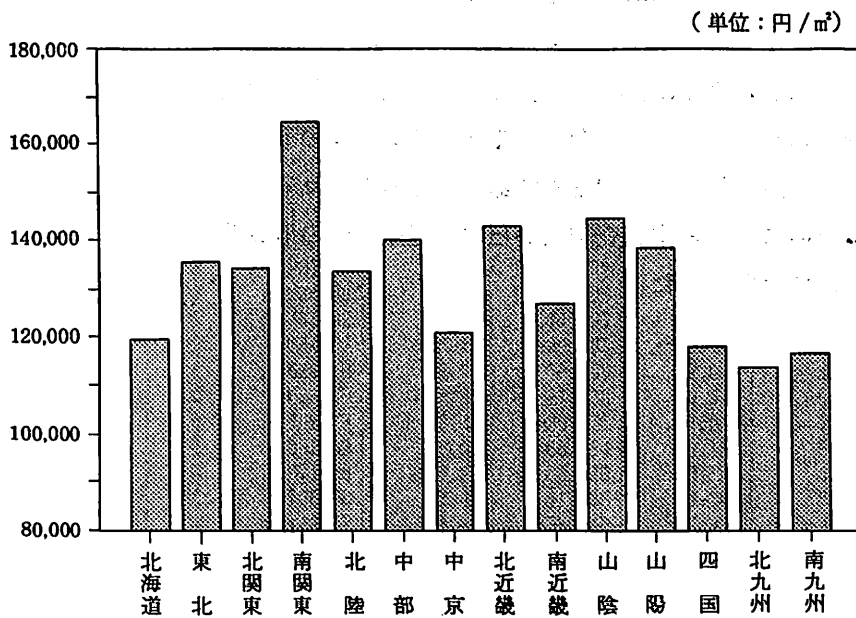


図15 建築価額の地域差 (5ヶ年平均)

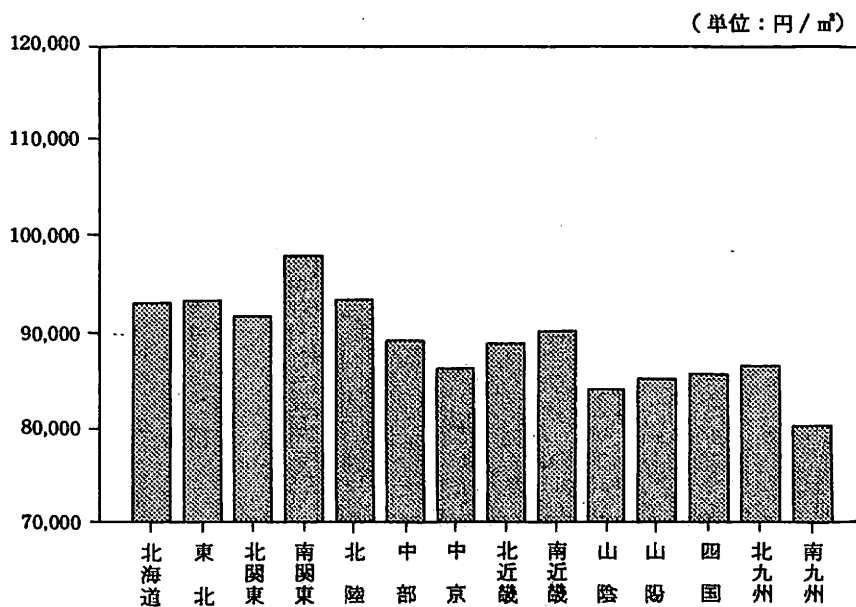


図16 再建築費評点数の地域差 (5ヶ年平均)

この5ヶ年分のデータを分析してみると、建築価額は南関東を除く他のすべての地域が標準偏差区間内にある。このことから、南関東を除く他の地域は、建築価額

において大きな差はないと思われる。

また、南関東、すなわち東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県の地域は、図16をみてもわかるように、再建築費評点数も高く、他の地域に比べ、家屋の程度が良いと考えられる。この点を考慮すると、サンプルの家屋が他の地域と同程度の家屋の場合、建築価額の差は縮まるであろうと考えられる。

以上のことから本調査結果からは、建築価額の地域差を表すデータを見出すことは、できなかった。

IV 計数資料等

1 共同住宅（RC造）に係る調査対象家屋の状況

調査市	戸数 (戸)	階数 (階)	延べ床面積 (㎡)	一戸当たり 延べ床面積 (㎡/戸)	建築価額 (円/㎡)	再建築費 評点数 (点/㎡)	評点水準 (%)
札幌市	51	4	2,126.25	41.69	145,581	92,663	63.65
八戸市	15	3	1,342.00	89.47	115,468	81,244	70.30
盛岡市	21	3	1,231.18	58.63	161,532	102,128	63.22
仙台市	32	4	2,236.08	69.88	142,106	87,422	61.52
秋田市	40	5	2,435.82	60.90	114,095	89,693	78.61
山形市	25	5	1,654.45	66.18	120,463	90,747	75.33
福島市	24	4	1,626.16	67.76	140,063	82,034	58.57
水戸市	16	4	1,036.80	64.80	127,500	86,512	67.85
宇都宮市	24	4	1,498.78	62.45	126,953	96,043	75.65
前橋市	12	4	803.52	66.96	168,284	93,157	55.36
浦和市	21	3	1,571.88	74.85	184,320	93,596	50.78
千葉市	27	4	1,766.00	65.41	141,333	89,249	63.15
東京市	23	5	2,149.47	93.46	258,040	127,318	49.34
横浜市	27	3	1,618.65	59.95	165,136	92,907	56.26
新潟市	42	6	3,197.14	76.12	149,488	91,364	61.12
富山市	18	3	1,399.68	77.76	123,749	94,275	76.18
金沢市	18	3	1,661.01	92.28	126,146	85,616	67.87
福井市	12	3	1,047.55	87.30	150,923	91,277	60.48
甲府市	20	4	1,304.26	65.21	132,642	102,461	77.25
長野市	12	3	916.32	76.36	157,203	84,259	53.60
岐阜市	24	4	1,585.68	66.07	110,624	77,696	70.23
静岡市	30	3	2,470.25	82.34	120,040	87,471	72.87
名古屋市	15	3	1,298.80	86.59	166,795	99,111	59.42
津市	20	4	1,241.43	62.07	113,417	90,090	79.43
大津市	18	3	946.83	52.60	200,669	93,936	46.81
京都市	33	5	2,729.87	82.72	153,044	110,502	72.20
大阪市	38	8	2,113.73	55.62	117,146	90,938	77.63
神戸市	39	3	2,428.02	62.26	145,439	101,148	69.55
奈良市	48	4	4,247.81	88.50	155,278	93,116	59.97
和歌山市	36	6	2,317.29	64.37	124,585	83,731	67.21
鳥取市	12	3	1,044.63	87.05	166,951	89,082	53.36
松江市	24	4	1,706.64	71.11	113,045	78,824	69.73
岡山市	12	3	803.82	66.99	143,389	77,616	54.13
広島市	22	5	1,683.34	76.52	145,858	90,087	61.76
山口市	12	3	535.50	44.63	128,054	100,264	78.30
徳島市	25	3	1,291.50	51.66	82,349	67,526	82.00
高松市	16	4	954.88	59.68	117,568	85,832	73.01
松山市	32	4	1,795.77	56.12	108,616	86,634	79.76
高知市	12	4	905.52	75.46	139,003	92,557	66.59
福岡市	24	4	1,738.08	72.42	89,521	77,211	86.25
佐賀市	37	5	2,182.73	58.99	128,737	82,529	64.11
長崎市	24	9	2,026.28	84.43	116,100	91,500	78.81
熊本市	16	4	1,048.80	65.55	130,157	85,033	65.33
大分市	12	4	816.48	68.04	93,125	74,040	79.51
宮崎市	18	3	980.64	54.48	104,275	83,552	80.13
鹿児島市	30	5	1,977.60	65.92	107,783	76,562	71.03
那覇市	31	4	1,746.40	56.34	128,836	86,478	67.12

## 2. 共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況

(単位：%)

調査都市	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	建築設備	仮設設備	その他
札幌市	29.337	7.657	1.140	4.812	9.758	4.373	3.402	1.573	12.237	20.197	3.572	1.943
八戸市	35.657	5.538	0.905	5.354	9.298	6.258	4.247	1.423	8.040	16.992	4.074	2.216
盛岡市	42.828	4.582	2.244	1.590	8.067	4.530	2.413	1.121	10.880	17.065	2.917	1.762
仙台市	33.637	5.989	2.026	3.795	9.071	4.209	2.952	0.931	12.754	18.789	3.786	2.059
秋田市	36.910	3.047	0.624	6.918	4.285	5.431	2.077	3.703	10.619	20.279	3.690	2.408
山形市	35.466	2.029	1.736	1.370	10.178	5.014	3.408	0.950	13.927	21.387	2.553	1.984
福島市	34.398	3.456	1.920	7.486	7.886	5.339	3.291	0.789	9.605	19.601	4.035	2.194
水戸市	32.652	1.283	2.630	7.608	8.902	4.696	3.254	1.785	11.267	17.688	5.739	2.497
宇都宮市	34.472	3.124	2.217	9.780	8.143	4.382	2.513	1.736	9.508	16.833	4.480	2.811
前橋市	36.163	8.189	0.951	2.096	7.643	4.670	3.218	1.312	14.175	16.097	3.553	1.932
浦和市	41.430	8.036	1.159	6.015	6.534	3.809	3.851	2.164	8.801	13.449	2.829	1.923
千葉市	27.078	4.512	1.216	7.553	8.373	5.471	2.417	1.980	10.637	25.037	3.709	2.017
東京	29.862	0.656	2.414	6.648	9.727	5.149	2.517	0.082	16.117	22.555	2.859	1.414
横浜市	31.960	3.308	2.409	5.571	8.837	6.052	3.086	2.254	12.080	18.333	3.563	1.937
新潟市	30.694	6.148	3.656	4.108	12.377	4.390	2.812	0.719	7.727	20.792	3.623	2.955
富山市	38.408	2.224	1.203	4.622	8.816	4.499	4.128	2.254	11.807	16.620	3.511	1.909
金沢市	33.756	2.977	1.668	5.507	7.522	5.955	3.596	2.479	10.498	18.840	3.866	2.102
福井市	37.554	5.053	1.170	8.376	6.818	4.088	5.121	2.027	9.271	14.333	3.626	2.564
甲府市	41.263	1.115	0.309	5.485	11.016	4.619	2.847	0.163	8.392	19.277	3.230	2.284
長野市	33.980	1.060	1.869	3.076	9.217	4.693	5.601	1.373	12.370	20.413	3.143	3.204
岐阜市	39.467	8.246	0.965	2.475	9.470	5.635	2.672	0.747	10.361	15.381	2.726	1.853
静岡市	31.570	6.232	2.288	4.691	11.170	4.943	3.982	1.727	11.574	15.948	3.406	2.469
名古屋市	39.210	6.574	1.730	1.816	8.055	6.707	3.223	1.845	10.611	15.073	3.340	1.816
津市	37.122	2.741	2.331	7.548	9.764	3.551	3.558	0.970	9.577	17.166	3.674	1.998
大津市	32.928	2.155	2.453	8.088	9.358	3.113	2.826	2.608	11.450	19.582	3.524	1.916
京都市	34.100	2.433	1.119	17.231	7.435	3.552	2.568	0.864	9.470	16.678	3.595	1.955
大阪市	29.067	3.483	2.719	4.644	7.843	3.455	3.599	0.647	11.395	25.550	3.640	3.959
神戸市	37.024	1.545	2.353	7.174	7.699	5.060	3.339	1.246	14.408	15.054	3.272	1.780
奈良市	35.649	4.444	1.836	6.804	10.508	5.027	3.558	2.824	12.067	12.469	2.879	1.933
和歌山市	34.901	2.711	2.648	3.407	10.193	4.315	3.422	0.733	9.516	21.620	3.953	2.580
鳥取市	39.216	8.698	1.029	4.561	6.309	5.297	2.385	1.019	10.378	15.370	3.716	2.021
松江市	30.877	5.379	1.199	2.433	10.284	6.510	2.700	0.832	11.951	20.944	4.199	2.284
岡山市	32.688	4.025	1.987	2.560	11.049	4.905	4.341	1.598	9.816	20.448	4.265	2.319
広島市	37.584	3.589	1.542	3.836	8.664	5.366	3.245	0.615	10.440	17.032	5.291	2.797
山口市	46.498	1.759	2.094	1.741	7.334	5.075	3.231	1.880	10.557	15.723	2.311	1.795
徳島市	30.277	1.973	3.265	3.366	8.349	5.195	3.120	1.485	16.604	18.531	4.902	2.932
高松市	35.527	1.078	2.243	7.214	6.956	4.631	3.833	2.176	15.445	14.519	3.855	2.515
松山市	31.160	2.394	2.088	4.009	14.275	5.699	3.529	1.146	12.882	16.921	3.821	2.078
高知市	37.319	9.557	0.717	3.850	6.903	5.709	3.503	1.886	7.703	17.322	3.575	1.944
福岡市	29.270	5.161	2.267	5.121	8.437	6.884	3.519	1.533	12.304	18.906	4.287	2.331
佐賀市	35.342	5.100	0.040	5.262	5.936	4.282	1.433	1.716	12.521	21.618	4.132	2.617
長崎市	41.800	1.889	1.492	2.367	8.202	5.383	2.940	1.999	9.940	18.963	3.256	1.770
熊本市	34.925	4.095	2.348	2.714	10.315	5.511	2.637	1.029	14.040	16.378	3.893	2.117
大分市	35.956	2.170	3.301	1.996	11.086	4.488	4.125	2.528	11.664	15.783	4.471	2.431
宮崎市	28.553	6.811	3.938	2.308	12.449	4.973	4.432	2.493	13.130	15.908	2.852	2.154
鹿児島市	39.335	1.160	1.211	1.038	8.721	6.317	3.239	0.953	13.767	17.325	4.583	2.351
那覇市	45.089	2.484	0.310	2.550	5.672	7.322	1.580	1.052	13.219	13.060	4.976	2.706

### 3. 共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況

(単位：点)

調査都市	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	建築設備	仮設設備	その他
札幌市	27,185	7,095	1,056	4,459	9,042	4,052	3,152	1,458	11,339	18,715	3,310	1,800
八戸市	28,969	4,498	735	4,350	7,554	5,084	3,450	1,156	6,532	13,805	3,310	1,800
盛岡市	43,739	4,680	2,292	1,624	8,239	4,626	2,464	1,145	11,112	17,428	2,979	1,800
仙台市	29,406	5,236	1,771	3,318	7,930	3,680	2,581	814	11,150	16,426	3,310	1,800
秋田市	33,113	2,733	560	6,205	3,843	4,871	1,863	3,321	9,524	18,189	3,310	2,160
山形市	32,184	1,841	1,575	1,243	9,236	4,550	3,093	862	12,638	19,408	2,317	1,800
福島市	28,218	2,835	1,575	6,141	6,469	4,380	2,700	647	7,879	16,079	3,310	1,800
水戸市	28,248	1,110	2,275	6,582	7,701	4,063	2,815	1,544	9,747	15,302	4,965	2,160
宇都宮市	33,108	3,000	2,129	9,393	7,821	4,209	2,414	1,667	9,132	16,167	4,303	2,700
前橋市	33,688	7,629	886	1,953	7,120	4,350	2,998	1,222	13,205	14,995	3,310	1,800
沼和市	38,777	7,521	1,085	5,630	6,116	3,565	3,604	2,025	8,237	12,588	2,648	1,800
千葉市	24,167	4,027	1,085	6,741	7,473	4,883	2,157	1,767	9,493	22,345	3,310	1,800
東京	38,020	835	3,074	8,464	12,384	6,556	3,205	104	20,520	28,716	3,640	1,800
横浜市	29,693	3,073	2,238	5,176	8,210	5,623	2,867	2,094	11,223	17,033	3,310	1,800
新潟市	28,043	5,617	3,340	3,753	11,308	4,011	2,569	657	7,060	18,996	3,310	2,700
富山市	36,209	2,097	1,134	4,357	8,311	4,241	3,892	2,125	11,131	15,668	3,310	1,800
金沢市	28,900	2,549	1,428	4,715	6,440	5,098	3,079	2,122	8,988	16,130	3,310	1,800
福井市	34,278	4,612	1,068	7,645	6,223	3,731	4,674	1,850	8,462	13,083	3,310	2,340
甲府市	42,278	1,142	317	5,620	11,287	4,733	2,917	167	8,599	19,751	3,310	2,340
長野市	28,631	893	1,575	2,592	7,766	3,954	4,719	1,157	10,423	17,200	2,648	2,700
岐阜市	30,664	6,407	750	1,923	7,358	4,378	2,076	580	8,050	11,950	2,118	1,440
静岡市	27,614	5,451	2,001	4,103	9,770	4,324	3,483	1,511	10,124	13,950	2,979	2,160
名古屋	38,861	6,515	1,715	1,800	7,983	6,647	3,194	1,829	10,516	14,939	3,310	1,800
津市	33,443	2,469	2,100	6,800	8,796	3,199	3,205	874	8,628	15,465	3,310	1,800
天津市	30,931	2,024	2,304	7,597	8,790	2,924	2,655	2,450	10,756	18,394	3,310	1,800
京都市	37,681	2,688	132	19,041	8,216	3,925	2,838	955	10,465	18,429	3,972	2,160
大阪市	26,433	3,167	2,473	4,223	7,132	3,142	3,273	588	10,362	23,234	3,310	3,600
神戸市	37,449	1,563	2,380	7,256	7,787	5,118	3,377	1,260	14,571	15,227	3,310	1,800
奈良市	33,195	4,138	1,710	6,336	9,785	4,681	3,313	2,630	11,236	11,611	2,681	1,800
和歌山市	29,223	2,270	2,217	2,853	8,535	3,613	2,865	614	7,968	18,103	3,310	2,160
鳥取市	34,934	7,748	917	4,063	5,620	4,719	2,125	908	9,245	13,692	3,310	1,800
松江市	24,338	4,240	945	1,918	8,106	5,131	2,128	658	9,420	16,509	3,310	1,800
岡山市	25,371	3,124	1,542	1,987	8,576	3,807	3,369	1,240	7,619	15,871	3,310	1,800
広島市	33,858	3,233	1,389	3,456	7,805	4,834	2,923	554	9,405	15,343	4,766	2,520
山口市	46,621	1,764	2,100	1,746	7,353	5,088	3,240	1,885	10,585	15,765	2,317	1,800
徳島市	20,445	1,332	2,205	2,273	5,638	3,508	2,107	1,003	11,212	12,513	3,310	1,980
高松市	30,493	925	1,925	6,192	5,970	3,975	3,290	1,868	13,257	12,462	3,309	2,159
松山市	26,995	2,074	1,809	3,473	12,387	4,937	3,057	993	11,160	14,659	3,310	1,800
高知市	34,541	8,846	664	3,563	6,389	5,284	3,242	1,748	7,130	16,033	3,309	1,799
福岡市	22,599	3,985	1,750	3,954	6,514	5,300	2,717	1,184	9,500	14,597	3,310	1,800
佐賀市	29,167	4,209	33	4,343	4,899	3,534	1,183	1,416	10,333	17,841	3,410	2,160
長崎市	38,247	1,728	1,365	2,166	7,505	4,925	2,690	1,829	9,095	17,351	2,979	1,620
熊本市	29,698	3,482	1,995	2,308	8,771	4,686	2,242	875	11,939	13,927	3,310	1,800
大分市	26,622	1,607	2,444	1,478	8,208	3,323	3,054	1,872	8,636	11,686	3,310	1,800
宮崎市	23,856	5,691	3,290	1,928	10,401	4,155	3,703	2,083	10,970	13,291	2,383	1,800
鹿児島市	30,115	888	927	795	6,677	4,838	2,480	730	10,540	13,264	3,509	1,800
那覇市	38,992	2,131	268	2,205	4,905	6,392	1,366	910	11,431	11,294	4,303	2,340

4 主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況

調査都市	主体構造部		基礎		
	鉄筋使用量 (t/㎡)	コンクリート使用量 (m <sup>3</sup> /㎡)	杭の使用本数 (本/㎡)	使用杭の種類	地盤
札幌市	0.059	0.619	0.092	鉄筋コンクリート杭	やや軟弱
八戸市	0.060	0.650	0.220	"	普通
盛岡市	0.108	0.942	0.080	PHC杭	"
仙台市	0.081	0.584	0.058	鉄筋コンクリート杭	"
秋田市	0.092	0.670	0.021	"	"
山形市	0.009	0.706			"
福島市	0.060	0.642	0.039	鉄筋コンクリート杭	普通
水戸市	0.077	0.579			普通
宇都宮市	0.076	0.729	0.072	鉄筋コンクリート杭	"
前橋市	0.081	0.736	0.085	"	"
浦和市	0.101	0.814	0.064	PHC杭	"
千葉市	0.056	0.546	0.040	鉄筋コンクリート杭	"
東京都	0.128	0.678			"
横浜市	0.067	0.667	0.048	コンクリート杭	"
新潟市	0.081	0.558	0.007	"	"
富山市	0.082	0.954			"
金沢市	0.059	0.675			"
福井市	0.099	0.679	0.026	PHC杭	"
甲府市	0.066	1.071			"
長野市	0.060	0.467			"
岐阜市	0.089	0.680	0.107	鉄筋コンクリート杭	"
静岡市	0.062	0.640	0.087	"	"
名古屋市	0.098	0.840	0.134	"	"
津市	0.073	0.763	0.049	"	"
大津市	0.057	0.748			軟弱
京都市	0.101	0.780	0.028	PHC杭	普通
大阪市	0.063	0.580	0.020	鉄筋コンクリート杭	"
神戸市	0.097	0.789			"
奈良市	0.089	0.689	0.052	鉄筋コンクリート杭	普通
和歌山市	不明確	不明確	0.030	"	軟弱
鳥取市	0.071	0.824	0.080	"	普通
松江市	0.051	0.563	0.043	"	"
岡山市	0.059	0.523	0.034	"	"
広島市	0.096	0.692	0.034	"	"
山口市	0.104	1.051			"
徳島市	不明確	不明確			"
高松市	0.070	0.680			"
松山市	0.054	0.634			"
高知市	0.076	0.784	0.088	ベDESTAL杭	"
福岡市	0.051	0.516	0.048	鉄筋コンクリート	"
佐賀市	0.087	0.769	0.033	"	"
長崎市	0.123	0.921			堅固
熊本市	0.072	0.648	0.072	PHC杭	普通
大分市	0.066	0.576	0.029	鉄筋コンクリート	"
宮崎市	0.058	0.557	0.091	"	"
鹿児島市	0.063	0.697			"
那覇市	不明確	不明確			やや軟弱
平均	0.076	0.703	0.062		
最大	0.128	1.071	0.220		
最小	0.009	0.467	0.007		
標準偏差	0.022	0.137	0.042		



### 5 建築設備に係る部分別評点数と設備内容

調査都市	電 気 設 備									
	評点数 (点/m <sup>2</sup> )	動力配線 設 備	電灯コン セント 配線設備	蛍光燈 用器具	白熱灯 用器具	呼出倍 号設 備	インター ホーン 配線設備	テレビジ ョン共同 視聴設備	電話配線 設 備	その他の設備
札幌市	4,076	○	○	○			○	○	○	
八戸市	4,781		○	○				○	○	
盛岡市	4,194		○	○				○	○	
仙台市	4,137	○	○	○			○	○	○	
秋田市	4,311		○	○		○		○	○	
山形市	5,464	○	○	○			○	○	○	
福島市	2,564		○	○				○	○	電鈴設備
水戸市	4,310		○	○				○	○	
宇都宮市	4,777	○	○	○				○	○	
前橋市	4,571		○	○				○	○	
浦和市	2,684		○	○				○	○	電鈴設備
千葉市	4,623		○	○				○	○	
東京市	7,748	○	○	○				○	○	
横浜市	3,931	○	○	○				○	○	
新潟市	5,085	○	○	○				○	○	電鈴設備
富山市	3,669		○	○				○	○	
金沢市	5,009	○	○	○				○	○	
福井市	4,829		○	○				○	○	
甲府市	4,810	○	○	○				○	○	
長野市	3,351		○	○				○	○	
岐阜市	2,784	○	○	○				○	○	
静岡市	4,378	○	○	○			○	○	○	
名古屋市	3,904		○	○				○	○	
津市	3,609		○	○				○	○	
大津市	5,654	○	○	○				○	○	
京都市	5,523	○	○	○				○	○	
大阪市	4,570	○	○	○				○	○	
神戸市	4,588	○	○	○				○	○	
奈良市	3,086	○	○	○				○	○	
和歌山市	4,747	○	○	○				○	○	
鳥取市	3,393		○	○				○	○	
松江市	3,785		○	○				○	○	電鈴設備
岡山市	3,578	○	○	○				○	○	
広島市	3,497	○	○	○				○	○	
山口市	3,538		○	○				○	○	
徳島市	3,801		○	○				○	○	
高松市	4,232		○	○				○	○	
松山市	3,619		○	○				○	○	
高知市	3,808		○	○				○	○	電鈴設備
福岡市	2,930	○	○	○			○	○	○	
佐賀市	4,241	○	○	○				○	○	
長崎市	5,100	○	○	○				○	○	
熊本市	3,904		○	○				○	○	
大分市	3,357		○	○				○	○	
宮崎市	3,370		○	○				○	○	電鈴設備
鹿児島市	3,139	○	○	○				○	○	
那覇市	4,149		○	○				○	○	

調査都市	衛 生 設 備								その 他 の 設 備
	評 点 数 (点/m)	給水設備	排水設備	中央式 給湯設備	衛生器具 設 備	ユニット バス	ガス設備	浄化槽 設 備	
札幌市	12,758	○	○		○	○	○		流し台、瞬間ガス湯沸器
八戸市	8,769	○	○		○	○		70人	
盛岡市	11,922	○	○		○	○	○		
仙台市	9,703	○	○		○	○	○		
秋田市	13,491	○	○		○	○	○		
山形市	9,523	○	○		○	○	○		
福島市	13,515	○	○		○	○	○		ユニット洗面台
水戸市	10,543	○	○		○	○	○		
宇都宮市	10,879	○	○		○	○	○		
前橋市	9,812	○	○		○	○	○	60人	
浦和市	9,597	○	○		○	○	○	100人	
千葉市	16,930	○	○		○	○	○		局所式給湯設備、流し台、 コンロ台、洗面化粧台
東京都	10,925	○	○		○	○	○		ステンレス流し台
横浜市	12,873	○	○		○	○	○		
新潟市	8,929	○	○		○	○	○		
富山市	10,439	○	○		○	○	○	75人	流し台、洗面台
金沢市	9,950	○	○	○	○	○	○		
福井市	10,117	○	○		○	○	○		
甲府市	14,661	○	○	○	○	○	○	○	
長野市	13,207	○	○		○	○	○		
岐阜市	7,979	○	○		○	○	○		浴槽
静岡市	8,197	○	○		○	○	○		
名古屋	9,140	○	○		○	○	○		ガス湯沸器
津市	10,424	○	○		○	○	○	80人	
大津市	11,669	○	○	○	○	○	○		
京都市	10,778	○	○	○	○	○	○		流し台
大阪市	14,415	○	○		○	○	○		局所式給湯設備、キャッチ ユニット、洗面化粧台
神戸市	10,426	○	○		○	○	○		
奈良市	7,865	○	○		○	○	○		
和歌山市	10,023	○	○		○	○	○		流し台
鳥取市	9,051	○	○		○	○	○		
松江市	12,487	○	○		○	○	○		浴槽、流し台、洗面台
岡山市	11,748	○	○		○	○	○		
広島市	7,946	○	○		○	○	○		
山口市	11,870	○	○		○	○	○		
徳島市	6,884	○	○		○	○	○	40人	
高松市	7,666	○	○		○	○	○	○	
松山市	10,634	○	○		○	○	○		
高知市	10,921	○	○		○	○	○		浴槽、流し台
福岡市	11,349	○	○		○	○	○		局所式給湯設備
佐賀市	10,512	○	○		○	○	○		
長崎市	12,035	○	○		○	○	○		
熊本市	9,467	○	○		○	○	○		ハーフユニットバス
大分市	7,991	○	○		○	○	○		
宮崎市	9,499	○	○		○	○	○		
鹿児島市	9,708	○	○		○	○	○		浴槽、流し台
那覇市	6,826	○	○		○	○	○		

調査対象 都市名	空調設備			防災設備				運搬設備 乗用エレベータ (規格・交流型)	
	評点数 (点/m <sup>2</sup> )	換気設備 ○	換気扇 (径・cm)	その他の設備	評点数 (点/m <sup>2</sup> )	避雷突針 設備	火災報知 設備		その他の設備
札幌市	790	○		レンジフード	1,091		○		
八戸市	255		40						
盛岡市	311		30		1,001		○		
仙台市	877		30	レンジフード	1,131	○	○		
秋田市	299		30		88				
山形市	276			レンジフード	1,187	○	○		2,958
福島市	339			レンジフード					
水戸市	264		20		185	○			
宇都宮市	511		10.20						
前橋市	612		○	レンジフード					
浦和市	307			レンジフード					
千葉市	792	○	13.20	レンジフード					
東京市	753		48		1,461		○	消火栓設備	7,829
横浜市	229	○							
新潟市	599		10		1,478	○	○	消火栓設備	2,905
富山市	1,560	○							
金沢市	198		30		973		○		
福井市	209		30		1,050		○		
甲府市	280		30						
長野市	642		20.25						
岐阜市	242		25		945		○		
静岡市	304		40		1,071		○		
名古屋市	263		40		1,632		○	消火栓設備	
津市	294		30		1,138	○	○		
大津市					1,071		○		
京都市					1,794	○	○	消火栓設備	1,334
阪南市	190		30	親子扇	1,585	○	○	"	
神戸市	263	○			42	○	○		
奈良市	618		30		1,055	○	○		1,849
和歌山市	429			レンジフード					
鳥取市	1,248	○							
松江市	257		○						
岡山市	545		○						
広島市	238		30		1,203	○	○		2,459
山口市	357		25						
徳島市	883		40		945		○		
高松市	385			レンジフード					
松山市	406		40						
高知市	304			レンジフード	991		○		
福岡市	318			レンジフード					
佐賀市	179		40		582	○	○		2,354
長崎市	216		30						
熊本市	556		40						
大分市	338			レンジフード					
宮崎市	422			"					
鹿児島市	277		30		140	○			
那覇市	319		○		1,749				3,078

## 6 主要資材価格、加工会社及び販売形態の状況

調査都市	生コンクリート (呼び強度180kg/cm <sup>2</sup> :円/m <sup>3</sup> )		生コンクリート (呼び強度210kg/cm <sup>2</sup> :円/m <sup>3</sup> )		鉄筋 (SD <sub>11</sub> :円/t)			業者登録 の区分	分譲・賃貸 の区分	民間・公団 の区分
	スランブ18cm	スランブ21cm	スランブ18cm	スランブ21cm	10	13	19~25			
札幌市			14,800		39,000	38,000	37,000	大 臣	貸 貸	民 間
八戸市	13,650				36,000	35,000	34,000	大 臣	貸 貸	民 間
盛岡市			18,000		62,000	62,000	62,000	大 大	貸 貸	民 間
仙台市	12,850	13,100	13,300	13,550	67,000	64,000	61,000	大 大	分 譲	民 間
秋田市			12,450		38,000	37,000	36,000	大 大	貸 貸	民 間
山形市	13,200	13,500	13,600	13,900	52,000	50,000	48,000	大 大	貸 貸	民 間
福島市	14,600	14,900	15,000	15,300	69,000	66,000	63,000	知 事	貸 貸	民 間
水戸市			10,100	10,100	55,000	53,000	54,000	大 大	貸 貸	民 間
宇都宮市	10,100	10,100	10,300	10,300	32,300	31,300	31,300	大 知	貸 貸	民 間
前橋市			10,000	10,000	49,000	48,000	47,000	大 大	貸 貸	民 間
浦和市			11,300		49,000	49,000	49,000	知 事	貸 貸	民 間
千葉市			13,000		35,000	35,000	35,000	知 事	貸 貸	民 間
東京市	11,400	11,400	10,000	10,000	47,000	46,000	46,000	大 大	分 譲	民 間
横浜市			13,250		34,500	34,000	35,000	大 大	貸 貸	民 間
新潟市	15,600		15,900		38,000	36,500	36,000	大 大	貸 貸	民 間
富山市	11,700	11,700	12,000	12,000	56,000	54,000	52,000	知 事	貸 貸	民 間
金沢市	12,050				71,000	68,000	65,000	知 事	貸 貸	民 間
福井市	12,100		12,300		50,000	48,000	45,000	大 大	貸 貸	民 間
甲府市	11,400	11,400	11,700	11,700	52,000	50,000	49,000	大 大	貸 貸	民 間
長野市	12,950		13,150		48,000	46,000	44,000	大 大	貸 貸	民 間
岐阜市		14,500	16,300		74,000	72,000	71,000	大 知	貸 貸	民 間
静岡市		11,000			48,800	47,800	47,800	大 大	分 譲	民 間
名古屋市	13,050	13,950	14,500	14,500	45,600	44,000	42,000	大 大	貸 貸	民 間
津市			12,500		60,000	60,000	58,000	知 事	貸 貸	民 間
天津市	15,750				38,000	37,000	36,000	大 大	貸 貸	民 間
京都市			12,300	12,300	46,500	46,500		大 大	分 譲	民 間
大阪市	11,900	11,900	12,300	12,300	61,000	59,000	57,000	大 大	貸 貸	民 間
神戸市			13,380	13,380	48,000	47,000	46,000	大 大	貸 貸	民 間
奈良市			13,000		63,000	60,000	60,000	知 事	分 譲	民 間
和歌山市	8,970	9,360	9,410	9,840	53,500	52,500	51,500	知 事	貸 貸	民 間
鳥取市	14,650	14,650	15,650	15,650	54,000	52,000	52,000	大 大	貸 貸	民 間
松江市	13,930	14,240	14,410	14,740	60,000	58,000	56,000	知 事	貸 貸	民 間
岡山市	13,000				70,000	68,000	68,000	大 大	分 譲	民 間
広島市	14,350	15,250	15,100	14,800	41,000	39,000	38,000	大 大	分 譲	民 間
山口市		13,950	13,950		86,000			大 大	貸 貸	民 間
徳島市	9,220	9,420	9,720	9,990	39,000	37,000	35,000	大 大	貸 貸	民 間
高松市	9,630	9,900	10,130	10,530	58,000	55,000	53,000	知 事	貸 貸	民 間
松山市	10,300	10,650	11,000	11,400	53,000		49,000	知 事	貸 貸	民 間
高知市	11,050				62,000	59,000	54,000	大 大	貸 貸	民 間
福岡市	6,550				46,000	45,000	44,000	知 事	貸 貸	民 間
佐賀市	10,800	11,100	11,350	11,700	46,000	45,000	44,000	知 事	貸 貸	民 間
長崎市	12,850	13,000	10,300	13,50	35,000	33,000	31,000	大 大	貸 貸	民 間
熊本市			13,500		110,000	110,000	110,000	知 事	貸 貸	民 間
大分市	9,500	9,800	10,000	10,300	64,000	61,000	59,000	知 事	貸 貸	民 間
宮崎市	12,000				72,000	68,000	63,000	大 大	貸 貸	民 間
鹿児島市			11,800		50,000	49,000	48,000	大 大	貸 貸	民 間
那覇市	11,800		12,000		45,000	44,000	44,000	大 大	貸 貸	民 間

7. 調査対象家屋の部分別仕上げ材一覧

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
北海道 (札幌市)	小口二丁掛タイル (色物) 42% コックリート打放 13% アスファルト露出 7% 防水 (加算) 51% 陶磁器質吹付 (磁器質系)	小口二丁掛タイル (色物) 2% コックリート打放 13% 石荷ボード (普通) 8% 板9mm 100mm 角・色物 2% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 73% 木毛セメント板15mm 2% (加算) 陶磁器質吹付 (陶器質系) 13% 二重貼石荷ボード (普通) 9mm厚 1% スタイルロホーム打込 (30mm厚) 3% スタイルロホーム (30mm厚) 30%	塩化ビニルタイル (半硬質 2mm厚) 3% 合成樹脂層 (普通) 16% 畳表床厚55mm コックリート金ごて仕上げ 12% じゅうたん (下地モルタル) 25% じゅうたん (下地木造) 5% クックリオンフロア (軟質中下地モルタル) 26% クックリオンフロア (軟質中下地木造) 9% フロン合板(5.5mm厚) 3% 角・色物 1% (加算点) 樹脂防水 5% スタイルロホーム打込 (50mm厚) 28%	合成樹脂紙貼 (並無地) 55% 石荷ボード (着色) 14% 板9mm厚 石荷ボード (吸音) 1% 板9mm厚 石荷ボード (普通) 3% 板9mm厚 岩綿板 (塗装吸音) 13% 板12mm厚 アルミニウム板 (成型板中) 1% コックリート打放 (下) 13% (加算) 陶磁器質吹付 (磁器質系) 2% 砂壁状合成樹脂吹付 アクリル系 11% スタイルロホーム (30mm厚) 19% 繊維吹付 (石綿) 1%	アスファルト露出 100% 防水 (加算点) スタイルロホーム (30mm厚) 100%	(アルミニウム) 建具 かまち戸 100mm サッシュ固定式 100mm サッシュ固定式 70mm サッシュスライド 70mm サッシュ入り出し (鋼製建具) 70mm フラッシュ戸 85mm アングル戸 85mm 重量タイプシヤッター (プラスチック) 建具 プラスチックサッシュ (内側) シュ (木製建具) 框戸 (ラワン) (しな合板) 複 (並) (ガラス) 熱線吸収網入ガラス (6.8mm) 網入磨き板ガラス (6.8mm) 網入磨き板ガラス 10mm 透明ガラス 3mm

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
青森県 (八戸市)	コンクリート打放 (並) 100% 加断熱吸音材 100% 樹脂入モルタル吹 付 100%	石綿セメント板 81% (フレキシブル板 8mm厚) ラワン合板(4mm厚 ) 8% コンクリート打放 (中) 2% ユニットバス 9%	コンクリート直仕 上げ(金ごて仕上 げ) 2% タタミ(中) 23% フロアーリング 66% (なら15mm厚) ユニットバス 9%	合成樹脂紙貼 (上・無地) 81% コンクリート打放 (並) 2% ラワン合板 (4mm厚) 8% ユニットバス 9%	アスファルト防水 100% (露出防水)	型板ガラス(3mm) 強化ガラス磨き板 (6mm)  (鋼製建具) フラッシュ戸 85mm サッシュスライド 式(100mm) アルミ製 サッシュスライド 式(70mm) スライド式 (60mm) 網戸・合成樹脂製 普通板ガラス つや消 3mm (木製建具) ふすま並 障子(腰付額入ガ ラス共) フラッシュ戸しな 合板
岩手県 (盛岡市)	小口二丁掛タイル (色算) 32% (加算) 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル) 52.4% モルタル(はけ引 き) 15.6%	合成樹脂壁紙(並 無地) 79.1% 石(9m/㎡) モルタル(金ごて 磨き) 12.2% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 3.1% 角タイル(100m/㎡ 角色物) 1.4% モルタル(100m/㎡ 角色物) 4.2%	単板張合板(並) 20.9% 壁(中) 23.4% ラワン合板 (9.0m/㎡) 4.6% 角タイル(100m/㎡ 角色物) 0.2% モルタル(金ごて 仕上) 33.3% 軟質クッションフ ロー(並) 17.6%	石膏ボード普通板 (9m/㎡厚) 4.6% モルタル(金ごて 仕上) 1.1% 石膏ボード吸音板 (9m/㎡厚) 10.5% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 79.5% 合成樹脂紙貼 (並)(無地) 4.3%	シート防水 非遊歩用 (強化ビニル系) 100%	(木製建具) サッ ッシュスライド式 (枠見込100mm) フラッシュ戸 ふすま(並) (しな合板) ふすま(中) (鋼製建具) フラッ ッシュ戸(枠見込85mm) (アルミニウム建具) サッシュスライド 式(枠見込70mm) サッシュ戸 固

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
宮城県 (仙台市)	小口二丁掛タイル 46.2% (色物) (加算) 陶磁器質状吹付 53.8% 磁器質系 (コンククリート打放直吹付)	合成樹脂壁紙 77.3% 無地 石畳ボード 12mm厚 12.0% 角タイル 100mm角 1.7% (色物) 陶磁器質状吹付 9.0% 陶磁器質系 (コンククリート打放直吹付)	塩化ビニルタイル 3mm厚 2.4% 塩化ビニルタイル 2mm厚 8.0% 半軟質タイル 8.0% 軟質クッションフロアー (並) 8.8% じゅうたん (並) 36.8% ラワン合板 5.5mm厚 5.1% 合成樹脂畳 普通畳表床厚 5.5mm 20.4% コンククリート金ゴテ仕上げ 2.2%	石膏ボード 12mm厚 4.8% 石膏ボード 9mm厚 17.3% 着色板 9mm厚 5.5% 石膏ボード 9mm厚 5.5% 吸音板 9mm厚 5.5% 合成樹脂紙貼 51.4% 上無地 51.4% 砂壁状合成樹脂吹付 アクリル系 21.0% (コンククリート打放直吹付)	アスファルト防水 80.5% 露出防水 塗膜防水 保護層なし、エマールシオン系 19.5%	(木製建具) フラッシュ戸 (しな合板) ふすま (並) 障子 (腰付額なし) (鋼製建具) フラッシュ戸 (神見込 85mm) アンダール戸 (神見込 85mm) (アルミニウム建具) サッシュ (スライド式) 神見込70mm (固定式) サッシュ (神見込70mm) かまち戸 (神見込)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
秋田県 (秋田市)	コンクリート打放 100% (加算) 砂壁状合成樹脂吹 付 100%	耐火ボード 9mm厚 23% 石膏ボード 9mm厚 石膏ボード 9mm厚 合成樹脂系エマ ント 76% 角タイル75mm角 (色物) 1%	モルタル金ごて仕 上げ 15% フロアリング 15mm 厚 (ぶな) 30% リノリウム、リノ リ 2% タイル 2mm厚 53% 畳	砂壁状セメント系 吹付 (ひる石系) 45% 石膏ボード 9mm厚 合成樹脂系エマ ント 13% ラワン合板 4.0mm 厚 39% 石膏ボード着色板 3%	アスファルト防水 露出防水 86% 塗膜防水 13% (エマルジョン系) モルタル防水 1% (エマルジョン系)	アルミニウム建具 (スライド式見込 60mm) (スベリ出し見込 60mm) (縦殺し見込 60mm) (鋼製建具) フラ ッシュ戸見込85mm (木製建具) フラッ ッシュ戸(シナ合板) (スライド式見込 90mm) ふすま(並ガラス) 透明板ガラス (3mm厚) 型板ガラス (4mm厚) (2mm厚) 網入板ガラス(磨 き板 6.8mm厚)



都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山形県 (山形市)	弾性吹付タイル 100%	合成樹脂壁紙 (並・無地) 85% プラスチックボード (:9mm厚) 11% モザイクタイル (角・色物) 1% 弾性タイル(並) 1% コンクリート打放 (並) 1% 角タイル (100mm白色) 1%	防水下地ノンスリ 28% フッフロア 27% 畳(中) 27% ニートルパンチ カーペット(並) 13% フロアー合板 11% (なら) 11% ラワン合板 9% (5.5mm) 9% クッションフロア ー(軟・中) 5% 角タイル (100mm白色) 4% モザイクタイル (角・色物) 2% 縁甲板(栓) 1%	合成樹脂壁紙 47% 吹付タイル 24% メスカシ 26% ラワン合板 2% (5.5mm) 2% 木毛セメント板 (10mm厚) 1%	シート防水 100% (2.0mm)	(鋼製建具) フラ ッシュ戸(80mm) " (100mm) " アンダール戸 (85mm) (アルミニウム製建具) フラッシュ戸(70mm) かまち戸 (70mm) " フラッシ ュ戸 (76mm) 引違い (70mm) " オペり出 し (70mm) 固定式 (70mm) (木製建具) フラッ ッシュ戸(合板) " フラッシュ戸 (しな合板) " かまち戸 (ラワン) " ふすま(並) " 障子 (腰付額なし) (ガラス) 普通板透明(3mm) " (5mm) " つや消し (4mm) " (4mm) " 6.5% 合せガラスフロア ー (3+3) 網入板ガラス (型 6.8%)

都道府県 調査対象市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
福 島 県 (福島市)	断熱パネル+砂壁 状セメント系吹付 (厚付型セメント) 72% 砂壁状セメント系 吹付(厚付型セメ ント) 28%	合成樹脂壁紙(並 ・無地、下地フラ ン合板厚 5.5mm) 30% 合成樹脂被覆合板 (塩化ビニル並・ 厚 3mm) 5% フリント合板 19% (厚 3mm) ラワン合板 31% (厚 4mm) 陶磁器質状吹付 (陶器質系) 9% モルタル (金ごて磨き) 4% 石膏ボード (厚 9mm) 2%	モルタル (金ごて仕上げ) 8% モルタル防水 (ケイ酸ソーダ系 ) 18% コンクリート直仕 上げ(金ごて仕上 げ) 4% 盤(中) 34% 織甲板 (ラワン) 7% 軟質クッション フロア(中・下地 ラワン合板) 20%	石膏ボード (着色板厚 9mm) 49% 石膏ボード (吸音板) 21% 合成樹脂板 (塩化ビニル・並 ) 3% ラワン合板 (厚 4mm) 11% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 9% 砂壁状セメント系 吹付(厚付型セメ ント) 7%	モルタル防水 (ケイ酸ソーダ系 ) 100%	(木製建具)戸 フラッシュ (しな合板) 障子 (腰付額なし) ふすま (並) (鋼製建具) フラッシュ戸 (桢見込85mm) フラッシュ戸 (桢見込50mm) (アルミニウム建 具) スライド式 桢見込60mm スライド式 腰パネル 桢見 込60mm スライド式 腰パネル 桢見 込70mm すべり出し 桢見込60mm (ステンレス建具) はめ殺し (桢見込 70mm) すべり出し (桢見込 70mm) (ガラス) 普通板透明 3mm厚 型状 4mm厚 網入板型板 6.8mm厚 磨き板 6.8mm厚
茨 城 県 (水戸市)	小口二丁掛タイル (白色) 43%	合成樹脂壁紙 (並) 無地 79%	フローリング (アピトン15mm)	合成樹脂紙貼 (並) 無地 88%	着色石綿セメント 板 100%	(鋼製建具) フラッシュ戸85mm

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	
栃木県 (宇都宮市)	陶磁器質吹付 (エポキシ樹脂系 57%)	角タイル(100mm・ 色物) 3% ラワン合板(4mm) 18%	アスファルト防水 (露出防水) 8% モザイクタイル角 ・色物 2% モザイクタイル丸 ・色物 3% モルタル金ごて仕 上げ 10% 合成樹脂壁紙 (普通) 55mm厚 モザイクパターケッ ト(ふな) 22% 軟質クッション フロア(中) 2% ラワン合板 5.5mm 厚 16%	ラフン合板(4mm) 10% モルタル (はけ引き) 2%	ラフン合板 4mm厚 7% 石膏ボード吸音板 9mm 35% 合成樹脂板塩化ビ ニル(並) 4% 石膏ボード着色板 9mm 54% (加算) 繊維塵吹付 7%	着色石綿セメント 板 100%	(アルミニウム建具) スライド70mm (木製建具)フラッ ッシュ戸(しな合板) ふすま(並) アルミ網戸 (合成樹脂網) (ガラス) 透明ガラス(3mm) 網入板ガラス(磨き板)
	コンクリート打放 し(加算) シート防水(遊歩 用) 2mm厚塩化ビ ニル 11% 系 陶磁器質吹付 69% 砂状合成樹脂吹付 アクリル系 16% 特殊ペイント防水 塗料 2%	角タイル 100mm角 ・色物 11% モルタル金ごて磨 き 2% 石膏ボード 9mm厚 15% 合成樹脂壁紙 (並) 無地 70% ラワン合板 4mm厚 (加算) 油性ペイント 4%	ラフン合板(4mm) 厚 7% 石膏ボード吸音板 9mm 35% 合成樹脂板塩化ビ ニル(並) 4% 石膏ボード着色板 9mm 54% (加算) 繊維塵吹付 7%	ラフン合板(4mm) 厚 10% モルタル (はけ引き) 2%	着色石綿セメント 板 100%	(アルミニウム建具) スライド 60mm 固定 60mm すべり出し70mm かまち戸 70mm 網戸 (合成樹脂) 固定 70mm (ガラス) 普通板ガラス (透明) 3mm 普通板ガラス (つや消し)3mm 型板ガラス 4mm 網入板ガラス	

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
群馬 県 馬橋市 (前)	陶磁器質 吹付 (陶磁器質) 100%	角タイル (100mm) 3% 白色 合成樹脂壁紙 無地(並) 83% ラワン合板 (4mm厚) 14%	モルタル金 こて仕上げ 34% 畳(中) 20% 合板(単板) 27% 張・並 合板(ラワン) 4% 5.5mm厚) 5.5mm厚) 軟質クッション フロアー(並) 15%	石膏ボード (着色板 9mm厚) 23% 合成樹脂紙貼 (並・無地) 38% 合板(ラワン) 4mm厚) 4% 合成樹脂系 ペイント 3% 陶磁器質状 吹付(磁器質) 22% 砂壁状合成樹脂 吹付(アクリル) 10% (加算) 25% 断熱吸音材	シート防水 (非遊歩) 合成樹脂系 0.8mm厚 塩化ビニール系 99% 合成樹脂板 アクリル 1.5mm厚 1%	(型板) 6.8mm 網入板ガラス (磨き板) 6.8mm  (木製建具) スライド式 90mm フレーション戸 合成樹脂被覆合板(並) ふすま(並) (鋼製建具)戸 鋼製かまち戸 (枠見込85mm) フレーション戸 (枠見込85mm) (アルミニウム建具) サッシュスライド式 (枠見込70mm) こり出し (枠見込70mm) 網戸 (合成樹脂網) (ガラス) (普通板 3mm厚) (型板 4mm厚) (型板 2mm厚) 網入板 6.8mm厚) 網入板 (磨き板 6.8mm厚)
埼玉 県 浦和市	小口二丁掛 (色物) 100%	角タイル (100mm) 5% 角色物) 5% 合成樹脂壁紙 (並、無地) 79% ラワン合板 (4mm厚) 16%	角 タイル (100mm) 3% 角色物) 26% 畳(中) 1% 合板(桧) 1% 合板(ラワン) 6% 5.5mm厚) 6% 軟質クッション フロア(中) 56%	合成樹脂紙貼 (並、桧物) 59% 合板(ラワン) 6% 4.0mm厚) 6% 一重回り縁 木造 仕上なし 28% 7%	着色石綿セメント 板 100%	(木製建具) 回転式(90mm) フレーション戸 (しな合板) ふすま(並) かまち戸 (ラワン)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
<p>外部仕上げ</p> <p>モルタル木ごと 10%</p> <p>磨き丁掛タイル (色物) 64%</p> <p>樹脂入モルタル 21%</p> <p>吹付ファルトル 8%</p> <p>防水モルタル 8%</p> <p>油性ペイン 5%</p>	<p>内部仕上げ</p> <p>モルタル金ごと 3%</p> <p>磨きタイル 100mm 3%</p> <p>角物樹脂壁紙 71%</p> <p>合成柄物 1%</p> <p>並板張合板、上 4mm厚 8%</p> <p>単板張合板、上 4mm厚 14%</p> <p>ラワソ合板 8%</p> <p>樹脂入モルタル 14%</p> <p>吹付</p>	<p>床仕上げ</p> <p>仕上なし 8%</p> <p>モルタル金ごと 5%</p> <p>磨きタイル 5%</p> <p>塩化ビニル 5%</p> <p>軟質タイル 4%</p> <p>2mm厚 クリソカー 4%</p> <p>150mm角 4%</p> <p>畳(中) 50%</p> <p>フローリング 26%</p> <p>なら、15mm厚</p> <p>ラフソ合板 10%</p> <p>5.5mm厚 (加算) 39%</p> <p>断熱材</p>	<p>天井仕上げ</p> <p>石膏ボード (着色板) 9mm厚 73%</p> <p>石膏ボード (普通板) 9mm厚 5%</p> <p>ラワソ合板 4mm厚 10%</p> <p>樹脂入モルタル 12%</p> <p>吹付</p>	<p>屋根仕上げ</p> <p>アスファルト 100%</p> <p>防水 8層</p>	<p>建具</p> <p>(鋼製建具) フラッシュ戸 85mm 枠見込み ガラス戸</p> <p>(アルミニウム建具) スライド式 70mm 枠見込み</p> <p>(ガラス) 普通板 ガラス 透明 3mm厚 型板 ガラス 4mm厚 網入板 ガラス 型板 ガラス 網入板 ガラス 磨き板</p> <p>(木製建具) サッシュ、固定式 (枠見込 90mm) フラッシュ戸 単板張合板 中 ぶすま 戸</p> <p>(鋼製建具) フラッシュ戸 85mm (枠見込) アングル戸 (枠見込 85mm)</p> <p>(アルミニウム建具) サッシュ、スライド式</p>
<p>千 葉 県 市</p> <p>( 千 葉 市 )</p>					

都道府県 調査対象 都	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
東京都 (特別区)	小口二丁掛 (色物) 79% コンクリート打放 (中) 21% (加算) 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 21%	小口二丁掛 (色物) 2% コンクリート打放 (中) 5% 合成樹脂壁紙・並 柄物 90% 石膏ボード 1% 石綿板 6.3mm厚 合成樹脂板・塩化 ビニル 1mm厚 1% ラワン合板 1% 4.0mm厚 (加算) 断熱吸音材 26% 油性ベイトメント 1% 合成樹脂系エマル ションペイント 1%	大理石・輸入石中 3% 花崗岩・国産石中 1% 磨き仕上げ 1% モルタル・金ごて 仕上げ 1% コンクリート直上 上げ 1% 特殊モルタル・硬 化剤入、並 2% 量(中) 11% じゅうたん(中) 51% 縁甲板(中) 2% フローリング・ア ピトン・15mm 5%	合板・単板張合板 9% 合成樹脂紙貼(並) 68% 無地 1% 岩綿板・塗装吸音 板・12mm厚 1% ガラス繊維板・吸 音板12mm厚 2% コンクリート打放 並 10% 発泡合成樹脂10% (加算) 合成樹脂系エマル ションペイント 1%	アスファルト防水 露出防水 78% アスファルト防水 150mm角クリンカ ータイプル(並) 22%	(枠見込 70mm) サッシュ、固定式 (枠見込 70mm) サッシュ、すべり 出し、(枠見込70mm) 網戸 合成樹脂網 (ガラス) 普通板ガラス (透明、3mm厚) 型板 (4mm厚) 網入板ガラス (型板 6.8mm厚) 網入板ガラス (磨き板 6.8mm厚) (木製建具) フラッシュ戸 (単板張合板) (しな合板) かまじ戸・桧 ふすま・中 障子・腰付類なし (鋼製建具) フラッシュ戸 100mm厚 (アルミ製建具) サッシュ、スライ ド式・70mm サッシュ、固定式 70mm サッシュ、すべり 出し・70mm 網戸

都道府県 調査対象 都	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
神奈川県 (横浜市)	モザイクタイル (角型、色物) 7% 仕上なし 93% (加算) 陶磁器質状吹付 (セメント系) 90% 油性ペイント 3% 断熱材 43%	角タイル 100mm角 (白) 2% ラワン合板 (4mm) 13% 合成樹脂壁紙 (並、無地) 85%	モルタル (金ごて仕上げ) 1% コンクリート直仕 上げ 20% (金ごて仕上げ) モルタル防水 1% モザイクタイル (角型、色物) 3% 軟質クッション フロア(中) 10% ラワン合板 (5.5mm) 9% 単板張合板 (並) 44% 畳(中) 12%	ラワン合板 (4mm) 6% 石綿セメント板 フレキシブル板 (普通、3mm) 2% 合成樹脂壁紙 (並、無地) 76% 石膏ボード (着色) 9mm 16% 加算 油性ペイント 2%	アスファルト 防水 100% (加算) 断熱材 119%	(合成樹脂網) (ステレンレス 建具) サツシユ (枠見込み100mm) シヤツター (ガラス) 普通板ガラス 4mm厚 磨き板ガラス 8mm厚 リ 5~6mm厚 網入板ガラス 網入板ガラス 6.8mm厚 網入板ガラス 磨き板 6.8mm厚

都道府県 調査対象市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
新潟県 (新潟市)	小口二丁掛 (色物) 100%	モルタル (金ごて磨き) 1% 石膏ボード (9mm厚) 4% 合成樹脂壁紙 (並、無地) 74% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 14% 仕上げなし 7%	角タイル (100mm角、色物) 5% 軟質クッション フロア(並) 35% 着色コンクリート 床 2% 床ラワン合板 (5.5mm厚) 4% フロアリング (なら15mm厚) 18% 畳(中) 30% 仕上げなし 6%	岩綿吸音板 (12mm) 1% 石膏ボード吸音板 (9mm厚) 10% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 3% 合成樹脂紙貼 (並、無地) 45% 石膏ボード着色板 (9mm厚) 30% 石膏ボード普通板 (9mm厚) 4% 仕上げなし 7%	シート防水 非遊歩用 合成ゴム系 0.8mm厚 100%	網入磨板ガラス 6.8mm 磨板ガラス 5~6mm
富山県 (富山市)	小口二丁掛 (色物) 33% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 67%  (加算分) 小口二丁掛 (色物) 6% 発泡合成 100%	角タイル (色物) 100mm角 80% 合成樹脂壁紙 (並、柄物) 4% 砂壁状セメント系 吹付(厚付型) 15% 仕上げなし 1%	モルタル (金ゴテ仕上げ) 6% モルタル防水 (エマルジョン系) 5% クリンカータイル (150mm角) 4% タタミ(上) 33% 軟質クッション フロア(中) 42%	石膏ボード (着色板 9mm厚) 38% 合成樹脂紙貼 (並、柄物) 42% 合成樹脂板 (塩化ビニル、並) 4% 砂壁状セメント系 吹付(厚付型) 15%	アスファルト防水 (モルタル目地切 8層)	(木製建具) サッシ固定式 枠見込90mm フラスコ戸 (合成樹脂被覆合 板、並) フラスコ戸 (しな合板) ふすま(並) 障子(腰付額入 ガラス共)





都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	アルミニウム板 0.4% 仕上げなし 60.6% (加算) 陶磁器質状吹付 (セメント系) 52% 断熱吸音材 78%	14.58% (加算) 陶磁器質状吹付 (セメント系) 10% 合成樹脂系ペイン ト (並) 0.42%	樹脂塗表 11% ラワン合板 (5.5mm厚) 2% モルタル防水 (ケ イ酸ソーダ系) 11% 仕上げなし 3% (加算) 断熱吸収材 47%	緑並下 11% 仕上げなし (加算) 19.67% 砂壁状合成樹脂吹 付 (アクリル系) 6% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 6% 合成樹脂系ペイン ト (並) 0.33%		(アルミラウム建 具) 二重サッシュ イド式 (70mm) 固定式 (70mm) すべり出し (70mm) 網戸 (ステンレス鋼) (鋼製建具) フラッシュ戸 (85mm) (ガラス) 二重磨板 5mm厚 3mm厚 二重網入磨板 6.8mm厚 3mm厚 復属ガラス 12mm厚 16mm厚
福 井 県 (福 井 市)	小口二丁掛 100% (白)	合成樹脂壁紙 (並、無地) 82% 陶磁器質状吹付 エポキシ樹脂吹付 8% ラワン合板 6% 仕上げなし 4%	軟質ク ロアタ タタミ ラワ リノ モル コン 上ク 仕上 なし 3%	合成樹脂壁紙 (並、無地) 46% 木材 (並) 26% 樹脂入モルタル吹 付 12% ラワン合板 5% バスコウボード 3% 石仕上げなし 4% 仕上なし 4%	アスファルト防水 100%	(木製建具) 障子 ふすま ベニヤフラッシュ ュ (鋼製建具) フラッシュ戸 (アルミニウム建 具) サッシュ イド 式 固定式 すべり出し

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山梨県 (甲府市)	コンクリート打放 +吹付タイル 92% 小口二丁掛 タイル 8%	合成樹脂壁紙 16% コンクリート打放 +吹付タイル 14% ラワン合板 6%	畳 フローリング 37% プロック 29% 磁器タイル 10% 硬質タイル 7% モルタル 7% ラワン合板 6%	合成樹脂壁紙 32% 石膏ボード 44% コンクリート打放 14% アクリルリシン 14% ラワン合板 6%	シート防水 100%	(ガラス) 透明 網入透明  (木製建具) 木製フラッシュ戸 ふすま (鋼製建具) フラッシュ戸 (アルミニウム建 具) サッシ (スライド式) (送り出し) フラッシュ戸 (ガラライ) (ガララス) 型板ガララス 透明型板ガララス 網入型板ガララス
長野県 (長野市)	樹脂入モルタル吹 付 100%	モルタル (はけ引) 7% 角タイル 100mm角 1% ラワン合板 (4mm厚) 34% 合成樹脂壁紙 (無地) 58%	モルタル (金ごて仕上) 17% 合成樹脂壁紙 普通 40% 養生 (55mm) 4% フローリング プロック (ふな) 4% 合成樹脂被覆合板 31% ラワン合板 (5.5mm) 8%	石膏ボード 9mm 合成樹脂紙貼 (無地) 27% 岩綿板 遮音板 12% ラワン合板 (4.0mm) 9% (加算) 発泡合成樹脂 307% 砂壁状合成樹脂吹 付 (アクリル系) 10%	着色亜鉛鉄板折板 (0.8mm) 100%	(木製建具) サッシ スライド式 90mm しな合板 フラッシュ ふすま 腰付額なし 障子 (鋼製建具) フラッシュ戸 85mm (アルミニウム建具) サッシ スライド式 70mm 固定式 70mm すべり出し 50mm

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
岐阜県 岐阜市	花崗岩 国産石 (並) 磨き仕上げ 1% 小口二丁掛タイル (色物) 3% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 96%	合成樹脂壁紙 (並) 無地 62% 合板ラワン合板 (40mm厚) 14% 角タイル 100mm角 (色物) 9% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 7% (積算基礎から) モルタル (はけ引) 合成樹脂系エマル ションペイント 4% 仕上なし 4%	モルタル (金ごて 仕上げ) 9% クリンカータイル (150mm角) 1% タタミ (中) 30% フローリングなら (15mm厚) 41% 合板ラワン合板 (55mm厚) 8% 軟質クッションフ ロア (中) 6% 角タイル(100mm角 色物) 4% グラスウール (断熱材) 9% 仕上なし 1%	石膏ボード (着色 板 9mm厚) 8% 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 41% 合板ラワン合板 (40mm厚) 8% 合成樹脂紙貼 (並 無地) 2% 石綿セメント板 (フレキシブル板 普 3mm厚) 合成樹脂系 (ペイ ント並) 12% 石膏ボード (普通 板 7mm厚) 合成樹脂系 (エマ ルションペイント ) 28% グラスウール (断 熱材) 20% 仕上なし 1%	塗膜防水 (モルタル 保護) エマルション系 100%	普通板ガラス 3mm 型板ガラス 4mm 網入型板ガラス 6.8mm " 磨き板ガラス 6.8mm (アルミニウム建 具) ライド式 スライド式 スライド式 70mm 70mm 70mm 70mm 70mm (木製建具) スライド式 70mm 90mm 90mm 90mm 90mm ふすま (並) 戸 フラッシュ板 しな合板 (鋼製建具) 戸 フラッシュ 85mm 網戸 合成樹脂網戸 網入透明 68mm厚 網入型板 68mm厚

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
静岡県 (静岡市)	<p>小口二丁掛タイル 色物 (直仕上) 57%</p> <p>コンクリート打放 (補修) 13%</p> <p>砂壁状合成樹脂吹 付タイル (アクリル系) 13%</p> <p>陶磁器質状吹付 (磁器質系) 30%</p>	<p>角タイル 100mm角 色物 1%</p> <p>小口二丁掛タイル 色物 1%</p> <p>合成樹脂壁紙並 柄物 82%</p> <p>ラワン合板 4mm 5%</p> <p>コンクリート打放 (補修) 4%</p> <p>(加算) 4%</p> <p>陶磁器質状吹付 (磁器質系) 15%</p>	<p>コンクリート直仕 2%</p> <p>角タイル 100mm角 1%</p> <p>塩化ビニル半硬質 タイル 2mm 2%</p> <p>合成樹脂畳 12%</p> <p>ラワン合板 5.5mm 5%</p> <p>カーベット (モル タル下地) 27%</p> <p>軟質クッション (下地板張) 5%</p> <p>フロリング 2%</p> <p>モルタル防水 (ケ ーサンソーダ系) 4%</p> <p>仕上げなし 4%</p>	<p>ラワン合板 5%</p> <p>軟質繊維吸音板 12%</p> <p>石綿セメント板 2%</p> <p>コンクリート打放 (補修) 5%</p> <p>合成樹脂紙貼 72%</p> <p>仕上げなし 4%</p> <p>(加算) 4%</p> <p>合成樹脂系エマル ション 2%</p> <p>砂壁状合成樹脂吹 付 (アクリル系) 2%</p> <p>陶磁器質状吹付 (磁器質系) 31%</p>	<p>アスファルト露出 防水 81%</p> <p>モルタル防水 (エ マルジョン系) 19%</p>	<p>型板ガラス 2mm厚 型板ガラス 2mm厚 透明ガラス 2mm厚</p> <p>(木製建具) アラッシュ戸 ふすま障子</p> <p>(鋼製建具) アラッシュ戸</p> <p>(アルミニウム建 具) ライド 固定式 にり出し よろい戸</p>
愛知県 (名古屋市)	<p>小口二丁掛タイル (色物) 2%</p> <p>陶磁器質状吹付 (磁器質系) 98%</p>	<p>角タイル 100mm角 (色物) 2%</p> <p>100 × 200 角タ イル 2%</p> <p>合成樹脂被覆合板 (上・5mm厚) 8%</p> <p>合成樹脂壁紙 (並・無地) 67%</p> <p>ラワン合板 (4.0mm厚) 20%</p> <p>陶磁器質状吹付</p>	<p>ラワン合板 6%</p> <p>(5.5mm厚)</p> <p>クリンカータイル (150mm角) 3%</p> <p>合成樹脂塗床 (塩化ビニル) 31%</p> <p>リノリューム 5%</p> <p>(塩化ビニル系 2 mm)</p> <p>合成樹脂畳 17%</p>	<p>ラワン合板 6%</p> <p>(5.5mm厚)</p> <p>石葺ボード化粧 板 (敷目天井) 17%</p> <p>合成樹脂壁紙 (並・無地) 39%</p> <p>陶磁器質吹付 (磁器質系) 28%</p> <p>石綿セメント板 6%</p> <p>(普通板 6.3mm厚)</p>	<p>アスファルト防水 (露出防水) 97%</p> <p>シールト防水 2%</p> <p>(非遊歩用・合成 樹脂系 0.8mm厚・ 塩化ビニル系)</p> <p>アスファルトシン グル葺 1%</p>	<p>(木製建具) アラッシュ戸 かまこ戸 ふすま (並)</p> <p>(鋼製建具) アングル戸 (枠見込85mm) アラッシュ戸 (枠見込85mm)</p>

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
三重 (津市)	小口二丁掛 (白色) 50% コンクリート (中) 50% (加算) 陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 50%	(磁器質系) 1% (加算) スタイロフォーム (25mm) 3%	(普通畳表・床厚 55mm) 1% 縁甲板 (ラワン) 37% フロ어링 (アビトン15mm) (加算) 33% 防水モルタル スタイロフォーム 21% (50mm)	砂壁除状セメント 系吹付 4% (ひる石系) 4% (加算) 合成樹脂系エマル ジョペンベイント 6%		(アルミニウム建具) スライド式 (カラークラシ 70mm) 固定式 (カラークラシ 60mm) アコデーオン ドア (中) ガラス 磨き板ガラス (5mm厚) 網入板ガラス (型板 6.8mm厚) ガラスルーバー (ジャロジエー 型板 6.8mm)
滋賀 (大津市)	小口二丁掛 (白色) 100% (窯変)	合成樹脂壁紙 (無地) 77% 角タイル (白色) 5% 石膏ボード (7mm厚) 8% モルタルはけ引き 10% (加算) 砂壁状セメント吹 付 10%	ニードルパンチ カーペット (並) 36% 合成樹脂壁 (普通畳表) 16% 軟質クッション フロア 38% クランカータイル 3% モルタル (金 ごて) 5% 仕上げ 角タイル 2%	石膏ボード (吸音 板) 21% 合成樹脂紙貼 (柄物) 61% 石膏ボード (普通板) 8% 石膏ボード (着色板) 5% コンクリート打放 (中) 5% (加算) 砂壁状セメント吹 付 (厚付型セメン ト) 5%	シート防水 100% (非遊歩用…合成 ゴム)	(アルミニウム建 具) スライド式 固定式 (ハメ殺し) フラッシュ戸 (鋼製建具) フラッシュ戸 ふすま (木製建具) フラッシュ戸
滋賀 (大津市)	小口二丁掛 (窯変) 100%	合成樹脂壁紙 (並・柄物) 87% 角タイル 100mm角	リノリウム・リノ タイル (3mm厚) 4%	合成樹脂紙貼 (並・無地) 59% プリント合板	着色石綿セメント 板 100%	(アルミニウム建 具) サッシュ引違い

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	(色物) 4% ラワン合板 4.0mm厚 陶磁器質吹付 (磁器質系) 2%	ニードルパンチカ ベット(並) 33% 軟質クッション ロア(中) 22% 合成樹脂畳(合成 樹脂畳表) 16% ラワン合板 5.5mm厚 3% モルタル(金ごて 仕上げ) + 特殊ペ イント防水 22%	3mm厚 16% ラワン合板 4.0mm厚 3% 砂壁状セメント系 吹付 22%			サッシュ閉ぎ サッシュ嵌殺し ガラス戸 フラッシュ戸 (鋼製建具) 70mm フラッシュ戸 85mm フラッシュ戸 33mm (木製建具) フラッシュ戸 障子 (腰付額なし) ふすま(並) (ガラス) 網入磨板ガラス 6.8mm厚 網入型板ガラス 6.8mm厚
京 都 府 市	小口二丁掛 (白色) 90% (加算) 陶磁器質吹付 (セメント系) 10%	モルタル(金ごて 磨き) 1% 角タイル 100mm角 (白色) 2% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 83% ラワン合板 (4mm厚) 9% 大理石(国産石) 1% 並 コンクリート打放 4% 並 (加算) 油性ペイント・並 1%	モルタル(金 仕上) 16% 合成樹脂塗床(塩 化ビニル) 9% 角タイル 100mm角 (白色) 7% ニードルパンチカ ベット(並) 38% ラワン合板 (5.5mm厚) 4% クッションフロア (軟質・並) 10% テラソソープロック (種石径50mm)	岩綿板・塗装吸音 板 12mm厚 5% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 64% ラワン合板 (5.5mm厚) 5% 仕上げなし 26% (加算) 合成樹脂系ペイン ト(並) 6% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 26%	アスファルト防水 モルタル目地切 3% アスファルト防水 80% 露出防水 エマルジョン系 14% 着色亜鉛鉄板 普通板・平板 2% アスファルトシ グル毒 1%	(木製建具) 戸 フラッシュ合板 並 ふすま 腰付額無 障子(鋼製建具) サッシュ 固定式枠 100mm (ガラス) フラッシュ戸 枠 100mm 軽量タイプ シンニーム建 (アルミニウム建 具) サッシュ

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
大 阪 府 (大 阪 市)	小口二丁掛 (色物) 8.6% モルタル(金ごて 磨き) 0.6% コンクリート打放 面補修 90.8% (加算) 陶磁器質吹付 (セメント系) 90.8%	合成樹脂壁紙(並 無地) 89.0% 着色石綿セメント 板 3.6% プリント合板 (t=3mm) 6.2% (中木) 塩化ビニル系(軟 質)砂壁状合成樹 脂吹付 0.4% (加算) セメント吹付 0.8%	3% 合成樹脂畳(合成 樹脂畳表) 13%	岩綿板・塗装吸音 板(t=19mm) 0.4% 石綿セメント板(普 普通板 t=8mm) 1.5% 石葺ボード(プリ ント化粧板 t=5 mm) 58.7% 合板(プリント合 板 t=5mm) 14.1% 合成樹脂紙貼 (並・無地) 0.1% コンクリート打放 面補修 25.2%	アスファルト防水 (露出防水) 76.6% アスファルト防水 (モルタル8層) 18.7% モルタル防水(エ マルジョン系) 4.7%	スライド式 枠 70mm 固定式 枠 70mm ガラリ (ステンレス建具) サッシュ 枠 100mm (ガラス ブロック) 115×115×95 (透明) (ガラス) 型板 ガラス 4mm厚 網入板 ガラス 型板 6.8mm厚 磨板 6.8mm厚 熱線吸収ガラス フロート 5~6mm厚
	(木製建具) フラッシュ戸 (しな合板) ふすま(並) ふすま(中) (鋼製建具) フラッシュ戸 t=80mm プレストア かまち戸 t=100mm 固定ガラス t=80mm クロセッコトドア (アルミニウム建具)	角 タイル(100mm角 色物) 0.8% 合成樹脂畳(普通 畳表床厚 t=55mm 軟質クッションフ ロアー(中) 7.4% ニードルパンチカ ーベット(上) 4.0% ニードルパンチカ ーベット(並) 2.2% ラワン合板				



都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
兵庫 (神戸市)	小口二丁掛タイル (色物) 48% 陶磁器質吹付 (セメント系) 45% 磁器角タイル 100mm (色物) 7%	合成樹脂壁紙 8.6% 無地 ラフオン合板 11% 磁器角タイル (100mm色物) 2% 小口二丁掛 (色物) 1%	じゅうたん (並) 37% 特殊硬化剤入 モルタル (上) 37% 合成樹脂 床厚 (55mm) 12% 軟質クッション ロア (並) 8% ラフオン合板 (9mm厚) 3% 角タイル 100mm (色物) 3%	(加算) 砂壁状合成樹脂吹 付 (アクリル系) 25.2% 断熱吸音材 (発泡 合成樹脂系 t=25 mm) 33.5%	シート防水 (非遊 歩用ポリイソプ レン系) 94% レンシート防水 (非遊 歩用ポリイソプ レン系) 6% (加算) 発泡合成樹脂 (50) 65%	サッシュ 式 (t=70mm) サッシュ 固定式 (t=70mm) 固定ガラス (t=70mm) 網戸 (合成樹脂網) 網戸 (ステンレス 網) (ガラス) 網入り板ガラス型板 t=6.8mm 網入り板ガラス磨き 板 t=6.8mm 熱線吸収ガラス網 入り磨き板 t=6.8mm 普通板ガラス透明 t=3mm
兵庫 (神戸市)	合成樹脂紙貼 (並・無地) 67% 陶磁器質吹付 (セメント系) 25% ラフオン合板 (4mm) 4% フレキシブル板 (普通板) (4mm) 4% (加算) 合成樹脂系エマル ションペンイント 4%	合成樹脂紙貼 (並・無地) 67% 陶磁器質吹付 (セメント系) 25% ラフオン合板 (4mm) 4% フレキシブル板 (普通板) (4mm) 4% (加算) 合成樹脂系エマル ションペンイント 4%	合成樹脂紙貼 (並・無地) 67% 陶磁器質吹付 (セメント系) 25% ラフオン合板 (4mm) 4% フレキシブル板 (普通板) (4mm) 4% (加算) 合成樹脂系エマル ションペンイント 4%	(加算) 砂壁状合成樹脂吹 付 (アクリル系) 25.2% 断熱吸音材 (発泡 合成樹脂系 t=25 mm) 33.5%	シート防水 (非遊 歩用ポリイソプ レン系) 94% レンシート防水 (非遊 歩用ポリイソプ レン系) 6% (加算) 発泡合成樹脂 (50) 65%	木製建具 フラッシュ戸 (並) フリ (しな合板) (アルミニウム建具) サッシュ (70mm) 固定 スライド 網戸 (合成樹脂) (ステンレス建具) かまち戸 (100mm) (鋼製建具) フラッシュ戸 (85mm) (ガラス) ガラスプロック 型板ガラス (4mm) 網入り板磨き ガラス

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
奈良県 (奈良市)	モザイクタイル 角型色物 100%	角タイプ 100mm角 色物 5% 合成樹脂壁紙 並無地 88% ラワン合板 4.0mm 仕上無し (ユニットバス)	畳中 ラワン合板 9mm じゅうつたん クリンカー 150mm角 フロアリング なら15mm 軟質クッション フロア 仕上無し (ユニットバス)	木材 並 12% 合成樹脂紙貼 81% 並無地 3% ラワン合板 3% 仕上無し 4% (ユニットバス)	砂珪ルーフ フィンダ 100%	(6.8mm) 磨き板ガラス (5mm) 強化ガラス (5mm)  (木製建具) フラッシュ戸 しな合板 ふすま中並 障子腰付額なし (鋼製建具) スライド戸 85mm かまち戸 100mm かまち戸 85mm (アルミニウム建具) スライド 70mm 固定式 70mm にり出し 70mm かまち戸 70mm (ガラス) 透明 網入板ガラス 型板 磨き板
和歌山県 (和歌山市)	モルタルはけ引き (加算) 100% 磁器質吹付 100%	モルタル (金ごて 仕上) 3% 角タイプ (色物) (100mm) 5% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 84% ラワン合板 (4mm) 8%	モルタル (金ごて 仕上) 2% 合成樹脂 (普通 懸表35mm) 32% クリンカー リノリウム・リン タイル 1% ニードルパンチカ 44%	岩綿板 (吸音板 9mm) 6% 合成樹脂紙貼 (並・無地) 86% ラワン合板 (4mm) 8%	シート防水 (非遊 歩用) (合成ゴム 系 0.8mm) 97% 着色石綿セメント 板 3%	(木製建具) フラッシュ戸 かまち戸 板戸 フスマ (並) (ラワン合板) フスマ (並)  (鋼製建具) アングル戸 85mm フラッシュ戸 85mm

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
鳥取県 (鳥取市)	モルタル木 き(合成樹脂系 ペイ ント・並) 磁器質吹付 エポキシ樹脂系 93%	石膏ボード 9mm) 19% 並 合成樹脂壁紙・並 無地 74% 陶磁器質吹付 エポキシ樹脂系 7%	モルタル金 上ゴ コン ク ラ 単 板 張 合 板 2% クリ ン フ ロ ン 中 板 1% ジョ ン 中 板 42% タ ワ ン 合 板 5.5mm 並 35%	ラ ワ ン 合 板 4mm 8% 石膏 色 9mm 13% 石綿 セ メ ン ト 板 5% 普 通 装 吸 音 板 1% 9mm 砂 壁 状 セ メ ン ト 系 吹 付 厚 付 型 セ メ ン ト 系 54% 合 成 樹 脂 紙 貼 10% 無 地 陶 磁 器 質 吹 付 樹 脂 系 9%	モルタル防水 ケイ酸ソーダ系 100%	アルミニウム建 具) フレーム ス ド ア (強化ガラス・手 動) アルミニウム建 具) かまち戸 70mm " はめ殺し 70mm " スライド式 70mm (ガラス) 強化 ガラス 10mm 網入ガラス 型板 6.8mm 普通板 ガラス 透明 3mm

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
島根県 (松江市)	合成樹脂系ペイン ト並 89% 磁器質系吹付 11%	合成樹脂壁紙 上・無地 67% 角タイプ 100mm角 11% 色物 ラワソ ン合板 4mm厚 22%	モルタル金 上げ 3% フロ ーリ ン グ な ぶ 31% モザ イ ク タ イ ル 4% 角 型 色 物 ニ ル タ イ ル 2mm厚 3% 軟 質 タ イ ル 合 板 10% 9mm厚 上 49% (加算) モ ル タ ル 防 水 21%	石 荷 ポ ー ド 吸 音 板 9mm厚 36% 合 成 樹 脂 板 塩 化 コ ニ ル 並 4% 合 板 ラ ワ ソ ン 合 板 4mm厚 10% 石 荷 ポ ー ド 着 色 板 9mm厚 50%	モ ル タ ル 防 水 100%	普通板ガラス ト ウ メ イ 5mm 型 板 ガ ラ ス 4mm 網 入 板 ガ ラ ス 型 板 6.8mm 磨 板 6.8mm
岡山県 (岡山市)	陶磁器質吹付 (セメント系) 100%	陶磁器質吹付 (セメント系) 7% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 82% ラ ワ ソ ン 合 板 (ア) 2%	ク リ ン カ ー タ イ ル (180角) 1% リ ノ リ ウ ム ・ リ ン タ イ ル (ア) 2.0mm 軟 質 ク シ ョ ン フ 2%	岩 綿 板 (塗 装 吸 音 板) (12mm厚) 2% 合 成 樹 脂 壁 紙 (並・無地) 91% ア ク リ ル リ ン シ ョ ン 吹 2%	ア ス フ ア ル ト 防 水 (露 出 防 水) 100%	(アルミニウム建具) 嵌殺(100mm) 6.48㎡ カ マ チ 戸 (100mm) 6.40㎡ ス ラ イ ド 式

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		4.0 仕上げナシ 4% 7%	ロア(中) 35% 合成樹脂畳(普通 畳表) (床厚55mm) 29% ノーデルパンチカ ーベット並 13% 合板(ラワン合板 5.5mm) 4% モルタル(金ごて 仕上げ) 5% コンクリート直仕 上(金ごて仕上げ ) 7% 合板(単板張合板 並) 4%	付 仕上げナシ 5% 2%		(鋼製建具) フラッシュ戸 85mm フラッシュ戸 50mm  (木製建具) フラッシュ戸 (しな合板) ふすま(並)  (ガラス)  網入透明 6.8mm 透明 5.0mm 型板 4.0mm
広島県 (広島市)	小口二丁掛 (色物) 31% 合成樹脂系ペ イント 69%	押入合板 (2.5mm厚) 10% 合成樹脂壁紙 (並・柄物) 87% 角タイル(100mm 角色物) 3%	角タイル(クリン 150mm) 5% ラワン合板 (4mm厚) 3% 織甲板(総 じゅうたん 並) 1% 40% 15% モルタル防水(エ マルジョン系) 21% 軟質クッション フロア(中) 9% ノーデルパンチ カベット(並) 2% 仕上げなし 4%	押入合板 (2.5mm厚) 3% 合成樹脂紙貼 (並・柄物) 57% 吉野天井 17% 合成樹脂吹付 (アクリル系) 19% 仕上げなし 4%	砂付ルーフィング (シングル葺) 100%	(アルミニウム建 具) サッシュスライ ド 式 固定式 すべり出し かまち戸  (鋼製建具) フラッシュ戸 障子戸 サッシュ戸 固定式  (木製建具) フラッシュ戸 板 ふすま

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山 口 市 (山 口 市)	小口二丁掛タイル (色物) 13% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 87%	合成樹脂壁紙 (並・柄) 82% ラワン合板 (4.0mm厚) 16% 角タイル (100mm角・白) 2%	タタミ(中) 32% 単板張合板 (並) 59% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% モルタル 金ごて仕上 2%	合成樹脂紙貼 (並・柄) 64% 軟質繊維板 (9mm厚) 29% ラワン合板 (4.0mm厚) 7%	着色石綿セメント 板 100%	(ガラス) 網入板ガラス 磨 き板 6.8mm 普通板ガラス 透明 5mm 透明 3mm 網入板ガラス 型板 6.8mm
徳 島 市 (徳 島 市)	陶磁器質吹付 セメント系 100%	角タイル(100mm角 )白色 9% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 72%	モザイクタイル (色物・丸型) 2% 畳(上) 52%	合成樹脂紙貼 (並・無地) 87% ラワン合板 4mm 8%	シート防水 非遊歩用塩化ビニ ル 87% 遊歩用塩化ビニル	(木製建具) サッシュ(スライ ド式) 90mm サッシュ戸 90mm

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		ラワン合板 (4mm厚) 19%	フローリング (なら) 19% ラワン合板 (5.5mm厚) 8% 軟質クッション フロア (並) 14% 仕上げなし 5%	ナシ	11%	(しな合板) 板戸 (ラワン合板) 障子 (ガラス共) (腰付額なし) (鋼製建具) フラッシュ戸 (枠85mm) (アルミニウム建具) アルミサイド式、枠 60mm) (送り出し、枠60 mm) (ガラス) 普通板ガラス (透明 5mm) 型板ガラス (4mm)
香 川 県 (高松市)	小口二丁掛 (白色) 100%	合成樹脂壁紙 (並・無地) 59% 軟質クッション フロア (中) 33% 角タイル 100mm角 (色物) 2% ラワン合板 (5.5mm厚) 6%	リノリウム・リノ タイル (2mm厚) 1% 軟質クッション フロア (中) 56% タタミ (中) 37% ラワン合板 (5.5mm厚) 6%	合成樹脂紙貼 (並・柄物) 33% 合成樹脂紙貼 (並・無地) 59% 石綿セメント板 厚 (普通板) 2% ラワン合板 (5.5mm厚) 6%	着色石綿 セメント板 115%	(木製建具)・並 フラッシュ戸 かまち戸杉 ふすま並 (鋼製建具) アンダルフ戸85mm フラッシュ戸85mm サッシュ戸固定式 85mm (アルミニウム建具) サッシュ戸固定式

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
愛知県 (松山市)	モルタルはけ引き 100% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 100%	合成樹脂壁紙 (並・柄物) 54% 合成樹脂板(メラ ミン 2.0mm厚) 14% ラワン合板 (4.0mm厚) 27%	合成樹脂畳表 フロリング (なら15mm厚) 38% 軟質クッション フロア(並) 9% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 角タイル (100mm角、色物) 2%	合成樹脂紙貼 (並・柄物) 49% 石膏ボード (着色板 9mm厚) 39% ラワン合板 (4.0mm厚) 7%	シート防水 非遊歩用 (合成樹脂系 0.8 mm厚 塩化ビニル 系) 100%	60mm サッシュライド 式60mm 網戸合成樹脂網  (ガラス) 網入板ガラス 型板6.8m/㎡厚 (磨き板 6.8mm) 普通板ガラス) 透明 5mm " "
						(木製建具) かまち戸 (ラワン) サッシュ(スライ ド式) (枠見込90mm) フッシュ戸 (合成樹脂被覆合 板)(並) 障子(腰付額なし)
						(鋼製建具) フッシュ戸 枠見込85mm



都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
高 知 県 (高 知 県)	モルタル + エポキシ系樹脂吹 付 100%	(仕上なし 5%) 角タイル 100mm角 合成樹脂壁紙 77% ラワン合板 21%	(仕上なし 5%) 角タイル 100mm角 フローリング 2% タタミ 61% ラワン合板 23% クッションフロア 7% 7% 6%	(仕上なし 5%) 吸音板 70% 一重廻縁 23% ラワン合板 7%	フレート着色板 100%	(アルミウレタン建具) サッシュ 出し 枠見込60mm サッシュ (スライ ド式) 枠見込60mm 網戸 (合成樹脂網)  (木製建具) サッシュ (引き違 い) フスマ フラッシュ戸 (しな合板) 板 (ラワン合板) (鋼製建具) フラッシュ戸 85mm (アルミウレタン建具) サッシュ (引き違 い) (引出・突出) (ガラス) 透明 4mm 型板 2mm 網入型板 6.8mm厚 網入みがき板 6.8mm厚 その他の建具 7コーデイトド

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
福岡県 (福岡市)	小ロ二丁掛タイル (色物) 38% 樹脂入りモルタル 吹付 62%	合成樹脂壁紙 (並・無地) 67% 角タイル 2% ラワン合板 21% 仕上げなし (ユニツトバス部 分) (加算) 断熱吸音材 20%	クリンカータイル 2% ラワン合板 6% ラワン合板 17% 単板張合板 34% 合成樹脂壁紙 (普通型表) 20% 軟質タックジョイント ローア(中) 3% モルタル防水 (ケイ酸ソーダ) 15% 屋根仕上から 仕上げなし 3% (ユニツトバス部 分)	合成樹脂紙貼 (並・無地) 31% ラワン合板 10% アクリント合板 25% 石符ボード吸音板 12% (9mm) 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル) 19% 仕上げなし 3% (ユニツトバス部 分)	シート防水 100% 非遊歩用合成樹脂 系 0.8mm厚 塩化ビニル系 (加算) 木毛セメント板 コンクリート 93% 25mm 天井仕上げから	(木製建具) かまち戸(ラワン) ガラス(腰付額入り 板戸(ラワン合板) ふすま(並) (鋼製建具)戸 フラッシュ戸 枠見込85mm アングル戸 枠見込85mm (アルミVM建具) 式枠見込60mm 固定式 枠見込60mm すべり出し 枠見込60mm 網戸 (合成樹脂網) (ガラス) 網入板ガラス 磨き板 6.8mm 網入板 ガラス 型板 6.8mm 普通板 ガラス 透明 3mm 型板 ガラス 4mm
佐賀県 (佐賀市)	小ロ二丁掛タイル 砂壁状合成樹脂系 吹付 70%	ラワン合板 21% 合成樹脂壁紙 67% 防露 11% 石綿セメント板 1%	軟質タックジョイント ピュア 1% デュオ 1% フローリング 33% 畳 23% コンクリート金	仕上げなし 43% 合成樹脂壁紙 12% 石綿セメント板 4% 合成樹脂系エマル ション 41%	アスファルト露出 防水 67% 塗膜防水エポキシ 系 21% 保護層なし シート防水遊歩用 合成ゴム系 12% 2mm厚	(木製建具) サッシスライド式 フラッシュ戸 フスマ (鋼製建具) かまち戸 フラッシュ戸 軽量タイプハンマー

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	
長 崎 県 (長 崎 市)	陶磁器質吹付 磁器質系 58.39% 仕上げなし 41.61%	合成樹脂壁紙 (並・無) 85% 合板(ラフワント板) 4% 5.5mm) 7% 木毛セメント板 (9~15mm厚) 4% 仕上げなし	合板(単板張) 58% 合板(中) 25% 角タイル(100mm) 2% 白色合板(ラフワント板) 4% 5.5mm厚) 4% 強化ビニル 軟質タイル (2mm厚) 7% 仕上げなし	テ 仕上げなし 2% 38%	(加算) 断熱材 77%	ア ス フ ァ ル ト 防 水 9 2 % 露 出 防 水 仕 上 げ な し 8 %	(アルミ)建具) サッシュ 固定 すべり出し かま ち 戸 (ガラス) 透明ガラス 3mm厚 5mm厚 つや消か ス 3mm厚 網入板ガ ラス 9.8mm厚 (磨板ガ ラス 型板ガ ラス (4mm厚) 網入型入 ガラス 6.8mm厚
						(アルミ)建具) フ ラ ッ シ ュ 引 違 い 7 0 m m (鋼製建具) ス ラ ッ シ ュ 引 違 い 1 0 0 m m (木製建具) サッシュ引 違 い 1 0 0 m m 障子(腰つき額なし) (ガラス) 普通板ガ ラス (透 明 3 m m) 型 板 ガ ラ ス 4 m m つ や 消 し ガ ラ ス 6 m m 網 入 板 ガ ラ ス 6.8 m m 磨 き 板 ガ ラ ス 6.8 m m	

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
熊本 熊本市	陶磁器質状吹付 (セメント系) 100%	角タイル 100mm角 8% 合成樹脂壁紙 (並・無地) 74% ラワン合板 (4mm) 17% モルタル金ごて磨 き 1%	モルタル金ごて仕 上げ 33% 単板張合板 (並) 24% 軟質クッション フロア(並) 1% 畳(中) 35% ラワン合板 (5.5mm) 7%	軟質繊維板 (吸音板12mm) 31% 合成樹脂板 (塩化ビニル並) 2% ラワン合板 (4mm) 7% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 60%	シート防水非遊歩 用(合成ゴム0.8 mm) 100%	網入板ガラス 6.8mm  (木製建具) 板戸 ラワン合板 フレーション戸 しな合板 ふすま(並)  (鋼製建具) フレーション戸 85mm  (アルミ鋼建具) 引違い 70mm すべり出し 70mm かまち戸 70mm  (ガラス) 普通板透明 3mm 5mm 4mm 型板 網入板ガラス (型板) " (磨き板)
大分 大分市	砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 96% 小口二丁掛タイル (色物) 4%	合成樹脂壁紙 (並・無地) 90% ラワン合板 (4mm) 7% 角タイル 100mm (色物) 2%	軟質クッション フロア(並) 50% 合成樹脂畳(普通 畳表 床厚30~50 mm) 20% じゅうたん (並) 16% ラワン合板 5.5mm 3%	合成樹脂紙貼 (並・柄物) 91% 石膏ボード(吸音 板 9mm) 9%	着色石綿セメント 板 100%	(木製建具) スライド 枠見込90mm ふすま(中)  (鋼製建具) スライド 70mm 網戸 (合成樹脂網)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
宮 崎 市	小口二丁掛 7% 陶磁器質吹付 93%	ラワン合板 12% 4.00mm厚 合成樹脂壁紙 76% 並・柄物 ベイト 4% 特殊塗料 8%	畳・中 モルタル 金ごて仕上げ 10% 単板張合板 21% 並 ラワン合板 5.5mm厚 軟質クッション 6% フロア中 仕上げなし 22% 5%	一回り縁 36% 並 ラワン合板 4.00mm厚 合成樹脂紙貼 46% 並・柄物 合成樹脂系 ベイト 7% 仕上げなし 5%	アスファルト防水 100% 豆砂利押 粒の揃っている もの	(アルミ・カム建具) スライド (70mm) 網戸 (合成樹脂網)  (ガラス) 透明 3mm 型板 4mm 型板 2mm 網入ガラス型板 (6.8mm) 網入ガラス磨き (6.8mm)
宮 崎 市	小口二丁掛 7% 陶磁器質吹付 93%	ラワン合板 12% 4.00mm厚 合成樹脂壁紙 76% 並・柄物 ベイト 4% 特殊塗料 8%	畳・中 モルタル 金ごて仕上げ 10% 単板張合板 21% 並 ラワン合板 5.5mm厚 軟質クッション 6% フロア中 仕上げなし 22% 5%	一回り縁 36% 並 ラワン合板 4.00mm厚 合成樹脂紙貼 46% 並・柄物 合成樹脂系 ベイト 7% 仕上げなし 5%	アスファルト防水 100% 豆砂利押 粒の揃っている もの	(木製建具) フラッシュ 戸 しな合板 サッシュ 式 見込90mm 並 ふすま  (網製建具) フラッシュ 戸 見込85mm  (アルミ・カム建具) サッシュ 式 見込60mm 並 サッシュ 出 見込60mm (ガラス) 網入板ガラス 型板 6.8mm厚 熱線吸収ガラス フロート 3mm厚

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
鹿児島県 (鹿児島市)	砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 100%	合成樹脂被覆合板 3mm 58% モルタル金ゴテ 22% モルタルはけ引き 6% モザイクタイル (角、色) 8% 砂壁状合成樹脂吹 付(ビニル系) 6%	タタミ(中) 37% ラワン合板 (5.5mm) 5% 単板張合板 (並) 21% モザイクタイル (角・色物) 7% モルタル金ゴテ 29% 軟質クッション フロア(中) 1%	プリント合板 (4mm) 40% ラワン合板 (4mm) 5% 石膏ボード (吸音板) 8% 砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 30% 合成樹脂紙貼 仕上げなし 15% 2%	モルタル 100%	(木製建具) フラッシュ戸 (合成樹脂被覆合 板、並) 戸 ふすま(並) (アルミウレタン スライド式) 見込70mm 固定式見込70mm フラッシュ戸 見込70mm 網戸(合成樹脂網) (鋼製建具) フラッシュ戸 (ガラス) 透明 3mm つや消し 5mm 網入板ガラス 型板 6.8mm 合わせガラス (フロート)
沖縄県 (那覇市)	コンクリート打放 し 61% 小口二丁掛タイル 22% 仕上げなし 17%	角タイル 13% ラワン合板 12% モルタル 70% 仕上げなし 5% (加算) エマルジョンペ イント 70%	金ゴテ仕上げ 4% モザイクタイル 10% 畳 36% フロアリング・フ ロア 45% ラワン合板 5%	フレキシブルポー ド 10% ラワン合板 5% 砂壁状セメント ひろ石系 81% 仕上げなし 4%	塩化ビニール系 (防水シート) 100% シート防水 遊歩用塩化ビニ ール系	(アルミウレタン建具) 引込70mm 100mm 嵌殺し (木製建具) フラッシュ戸 ふすま(並) (上) 障子 フラッシュ戸 (ガラス) 透明 ガラス 網入型 ガラス リ 磨板 ガラス 型板

V 参考資料

1 主要建築資材の卸売物価指数

品目	昭和60年1月 (A)	昭和62年1月 (B)	昭和63年1月 (C)	(B)/(A)	(C)/(A)
丸太	104.4	99.2	105.9	0.95	1.01
じゆうた	91.8	99.6	9.6	1.08	1.08
タフデットカーベツ	98.8	98.9	96.3	1.00	0.97
角ひき	100.1	105.2	120.0	1.05	1.20
板普通	101.1	98.6	110.2	0.98	1.09
特通	102.4	102.0	122.9	1.00	1.20
フローリングボード	102.6	106.4	107.0	1.04	1.04
合板	100.4	99.2	107.3	0.99	1.07
合板	99.7	99.1	109.7	0.99	1.10
合板	100.0	100.8	102.9	1.01	1.03
合板	100.0	103.3	103.3	1.03	1.03
合板	99.8	98.8	98.3	0.99	0.98
合板	99.8	102.4	124.0	1.03	1.24
合板	100.0	100.0	107.5	1.00	1.07
合板	99.6	104.6	113.4	1.05	1.14
合板	99.9	101.4	107.2	1.02	1.07
合板	101.1	93.7	94.2	0.93	0.93
合板	103.3	85.8	103.0	0.83	1.00
合板	105.6	61.7	95.2	0.58	0.90
合板	100.0	99.0	98.3	0.99	0.98
合板	100.1	91.9	92.4	0.92	0.92
合板	103.4	88.3	84.8	0.85	0.82
合板	99.6	79.9	92.1	0.80	0.92
合板	100.8	80.7	87.7	0.80	0.87
合板	101.8	77.9	86.1	0.77	0.85
合板	99.2	95.4	95.2	0.96	0.96
合板	100.0	100.0	100.0	1.00	1.00
合板	100.0	97.5	100.8	0.98	1.01
合板	92.8	109.4	109.4	1.18	1.18
合板	99.5	101.1	101.1	1.02	1.02
合板	99.4	98.3	100.6	0.99	1.01
合板	100.8	91.7	95.2	0.91	0.94
合板	101.9	90.7	99.3	0.89	0.97
合板	100.2	98.3	100.2	0.98	1.00
合板	100.2	99.0	101.9	0.99	1.02
合板	100.0	99.0	97.1	0.99	0.97
合板	100.0	95.5	97.7	0.96	0.97
合板	100.0	99.6	99.6	1.00	1.00
合板	100.0	89.3	88.3	0.89	0.88
合板	98.7	100.2	100.2	1.02	1.02
合板	98.2	100.2	100.2	1.02	1.02
合板	98.2	98.1	95.6	1.00	0.97
合板	100.3	79.8	84.7	0.80	0.84
合板	100.0	71.8	67.5	0.72	0.68
合板	100.0	97.1	95.9	0.97	0.96
合板	100.0	96.9	96.9	0.97	0.97
合板	100.0	97.6	97.0	0.98	0.97
合板	107.4	99.3	96.6	0.92	0.70
合板	105.9	106.6	107.0	1.01	1.01
合板	100.0	91.4	91.1	0.91	0.91
合板	100.0	95.3	95.0	0.95	0.95
合板	99.3	99.6	99.6	1.00	1.00
合板	100.0	99.4	99.9	0.99	0.99
合板	98.7	97.6	94.3	0.99	0.96
合板	100.0	101.9	101.9	1.02	1.02
合板	100.0	95.9	90.3	0.96	0.90
合板	99.8	98.5	98.9	1.00	1.00
合板	100.4	100.4	100.4	1.00	1.00
合板	100.8	99.5	102.3	0.99	1.01
合板	105.0	96.9	92.7	0.92	0.88
合板	100.6	119.1	126.5	1.18	1.26

「昭和63年基準卸売物価指数」(日本銀行調、昭和60年平均=100)

2. RC造居住専用建物の工事費予定額等

項目 都道府県名	棟数 (A)	床面積合計 (B) (㎡)	工事費予定額 (C) (万円)	1.0㎡当たり 工事費単価 (C)/(B)(円)	一棟当たり 延べ床面積 (B)/(A)(㎡)
北海道	1,232	1,256,991	16,672,585	132,639	1,020.28
青森県	69	56,004	798,779	142,629	811.65
岩手県	52	51,093	696,195	136,260	982.56
宮城県	406	269,660	3,946,854	146,364	664.19
秋田県	39	42,014	542,458	129,114	1,077.28
山形県	132	60,350	798,627	132,333	457.20
福島県	235	141,710	1,827,490	128,960	603.02
茨城県	451	249,716	4,026,579	161,246	553.69
栃木県	156	101,383	1,457,743	143,786	649.89
群馬県	188	143,354	2,097,433	146,311	762.52
埼玉県	1,409	1,509,538	28,649,309	189,789	1,071.35
千葉県	1,050	968,126	19,120,945	197,505	922.02
東京都	5,629	3,787,956	88,038,346	232,416	672.94
神奈川県	3,687	2,699,048	57,735,380	213,910	732.04
新潟県	190	86,416	1,497,008	173,233	454.82
富山県	219	113,223	1,598,992	141,225	517.00
石川県	181	116,249	1,826,619	157,130	642.26
福井県	189	119,736	1,764,798	147,391	633.52
山梨県	160	199,241	3,980,647	199,791	1,245.26
長野県	396	184,351	3,145,425	170,622	465.53
岐阜県	306	161,280	2,222,192	137,785	527.06
静岡県	1,038	636,976	10,693,916	167,886	613.66
愛知県	2,500	1,694,682	23,559,887	139,022	677.87
三重県	339	124,380	1,762,935	141,738	366.90
滋賀県	186	175,957	2,497,393	141,932	946.01
京都府	763	546,572	9,501,286	173,834	716.35
大阪府	2,295	1,978,981	31,537,314	159,361	862.30
兵庫県	2,355	1,509,197	24,125,571	159,857	640.85
奈良県	491	224,980	3,462,259	154,025	458.21
和歌山県	380	141,738	1,869,883	131,925	372.99
鳥取県	83	40,337	577,342	143,130	485.99
島根県	88	42,205	566,911	134,323	479.60
岡山県	273	140,665	1,945,628	138,316	515.26
広島県	1,243	544,981	8,113,192	148,871	438.44
山口県	677	220,707	2,940,343	133,224	326.01
徳島県	293	163,991	1,983,923	120,978	559.70
香川県	301	158,104	2,042,058	129,159	525.26
愛媛県	526	253,116	2,984,732	117,920	481.21
高知県	290	107,260	1,460,184	136,135	369.86
福岡県	1,885	1,387,185	17,539,705	126,441	735.91
佐賀県	77	43,026	525,547	122,146	558.78
長崎県	396	161,548	2,085,098	129,070	407.95
熊本県	358	273,243	3,160,378	115,662	763.25
大分県	307	176,035	2,003,461	113,810	573.40
宮崎県	298	190,839	2,187,200	114,610	640.40
鹿児島県	1,073	338,382	4,018,705	118,762	315.36
沖縄県	5,269	1,030,032	12,617,210	122,493	195.49
全国計	40,160	24,622,558	418,209,465	6,895,068	29,493.09

(平成元年度版 建築統計年報 建設省建設経済局)





